

整理番号 358 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点 運営経費	決算書頁 265
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-6 就業・起業	H21 年度～ R6 年度	01-07-01-02-05-01
	基本事業	② 創業支援	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費	産学振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次起業を考えている法人																	
	目的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出																	
	根拠法令等																		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」を運営している伊賀市文化都市協会に対し、運営管理経費の一部を補助しました。</li> <li>市内外事業者等8件の共同研究、技術相談を実施したほか、理科教育振興のため出前授業を実施するなど地域産業の活性化とともに次世代育成に取り組みました。</li> <li>小学生を対象とした「こども大学」を2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。(第26回:32名、第27回:38名)</li> <li>新規創業者や経営者等を対象に、情報交流カフェを開催しました。(6月:オンライン、11月:対面)</li> <li>三重大学産学官連携セミナーin伊賀を開催しました。</li> <li>インキュベーションマネージャーを1名配置し、創業・企業等の相談・訪問を353件行いました。</li> <li>インキュベーション室への新規入居が1件あり、インキュベーションマネージャーによる創業や経営についてのアドバイスを随時行いました。(現在の入居数:5件(4部屋、3ブース 計7件中)</li> <li>三重大学、文化都市協会、市の三者が連携して、三重大学伊賀研究拠点全体会議・共同研究施設運営委員会・産学官連携伊賀研究拠点WG会議を開催し、ゆめテクノ伊賀に関連する取組について関係団体と情報共有・意見交換を行いました。</li> </ul>																	
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>984,000円</td> <td>産学官連携研究開発拠点駐車場借上料(近鉄)</td> <td>984,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>18,377,638円</td> <td>産学官連携研究開発拠点運営補助金</td> <td>18,377,638円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,361,638円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		使用料及び賃借料	984,000円	産学官連携研究開発拠点駐車場借上料(近鉄)	984,000円	負担金、補助及び交付金	18,377,638円	産学官連携研究開発拠点運営補助金	18,377,638円	計	19,361,638円				
経費	金額	摘要																	
使用料及び賃借料	984,000円	産学官連携研究開発拠点駐車場借上料(近鉄)	984,000円																
負担金、補助及び交付金	18,377,638円	産学官連携研究開発拠点運営補助金	18,377,638円																
計	19,361,638円																		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	17,772		19,375		19,362		20,050	
		合計(A)	17,772		19,375		19,362		20,050	
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.25 人	0.25 人			
			人件費	1,553	1,548	1,935	1,927			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.01 人	0.00 人			
人件費	0	0	17	0						
小計(B)	1,553	1,548	1,952	1,927						
合計(A+B)	19,325	20,923	21,314	21,977						
市民1人当たりのコスト(円)	217	239	243	255						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	共同研究の成立数	共同研究の成立数	件	目標	10	10	10	10
				実績	7	8		
指標化できない成果			達成	70.0%	80.0%			

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業について市内では認知度が低く、より多くの市民や市内企業に関心を持ってもらう必要がある。</li> <li>設備や研究機器の老朽化が進んでいる。</li> </ul>
	改善案		I. II. 本事業について市民や市内企業に周知を行い、認知度の向上を目指すとともに、利用促進を図る。また、今後のあり方について文化都市協会や三重大学などの関係機関とともに検討を進める。

整理番号
359 -

決算書頁
267

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)06営業本部活動事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	R2 年度～	R6 年度	01-07-01-02-06-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般管理経費	担当部署	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体及び事業者		
	目的	伊賀市の「食」、「物産」、「観光」、「産業」及び「それらに関わる人」等の魅力を事業者等と一体となって国内外へ情報発信し、誘客促進や市産品の販路拡大を図る。		
	根拠法令等			
	内容	・営業本部事務局として「伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園」に参加し、チラシ配布、SNSフォロー促進により魅力の発信を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	54,590円	伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園旅費 54,590円	
	消耗品費	4,550円		
	計	59,140円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	0		178		60		0	
		合計(A)	0		178		60		0	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.00 人		業務量 0.05 人		業務量 0.05 人		業務量 0.00 人	
		人件費	0		387		387		0	
		再任用職員	業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人		業務量 0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	0		387		387		0		
	合計(A+B)	0		565		447		0		
	市民1人当たりのコスト(円)	0		7		6		0		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園への参加	目標		回		-	1	-	-
		実績				-	1		
指標化できない成果				達成	-	100.00%			

方向	統合	課題	本事務事業では成果に結びつくような活動を行っていない。
	改善案		I. 事業目的から、営業本部活動事業に統合する。

整理番号
360 -

決算書頁
267

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)06営業本部活動事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R4 年度～ R6 年度	01-07-01-02-06-03
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	営業本部活動事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関西圏、中部圏、首都圏を最重要エリアとする国内外																																				
	目的	食、物産、観光、歴史、文化、産業、それらに関わる人などの魅力を効果的に発信し、観光客の増加や地元産品の販路拡大につなげ、伊賀市の賑わいづくりや産業の振興に資する。																																				
	根拠法令等																																					
	内容	<p>【首都圏発信事業】「伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園」を(11/18～20)に開催し、45,000人の来場があり、忍者体験コンテンツやステージアトラクション、物産販売のほか、アニメ「忍の一時」とのコラボステージを通じて伊賀の魅力発信を行いました。また、三重テラスで開催した「伊賀市首都圏情報発信事業」(11/1～3)では、伊賀ブランドをはじめとした「IGA物産フェア」を展開するとともに、首都圏の事業者等に向けた「伊賀市産業交流セミナーinTokyo」を実施し、伊賀市の操業環境の紹介や食を通じた総合的なプロモーションにより、参加者間のネットワークづくりを行いました。</p> <p>【関西圏誘客促進事業】大阪関西万博2025に向け、「三重県まるみえフェスタ」(於:JR大阪駅、3/11.12、県主催事業への出展)、「伊賀上野NINJAフェスタin天神橋筋商店街」(於:天神橋筋商店街、3/18、商店街との共催)を開催し、伊賀市のPR活動を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「イガコレ観光EXPO2023」(於:ハイトピア伊賀・多目的広場、3/19.21)を開催し、伊賀市民の熱量向上に向けシンポジウム等を開催しました。</li> <li>・地域の特性を最大限に活かした産品づくりや情報発信等を、関係団体等が連携して推進する「伊賀ブランド推進協議会」に対し補助金を交付し、同会が取り組む伊賀ブランド「IGAMONO」の知名度アップや価値向上、事業者の生産意欲や販売意欲の向上、新たな事業展開への創出を支援しました。</li> <li>・全ての職員が営業担当者である営業本部の事務局として、庁内で実施される事業について情報収集、共有を行いました。</li> </ul>																																				
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>1,181,603円</td> <td>イベント、打ち合わせ等に係る旅費</td> <td>1,181,603円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>12,857,344円</td> <td>関西圏誘客促進事業委託料</td> <td>4,318,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園事業委託料</td> <td>7,634,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>首都圏情報発信事業委託料</td> <td>871,244円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>廃棄物処理業務委託料</td> <td>34,100円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>3,000,000円</td> <td>伊賀ブランド推進事業費補助金(伊賀ブランド推進協議会)</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会in天神橋筋商店街負担金</td> <td>500,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>17,038,947円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		旅費	1,181,603円	イベント、打ち合わせ等に係る旅費	1,181,603円	委託料	12,857,344円	関西圏誘客促進事業委託料	4,318,000円			伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園事業委託料	7,634,000円			首都圏情報発信事業委託料	871,244円			廃棄物処理業務委託料	34,100円	負担金、補助及び交付金	3,000,000円	伊賀ブランド推進事業費補助金(伊賀ブランド推進協議会)	2,500,000円			伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会in天神橋筋商店街負担金	500,000円	計	17,038,947円			
経費	金額	摘要																																				
旅費	1,181,603円	イベント、打ち合わせ等に係る旅費	1,181,603円																																			
委託料	12,857,344円	関西圏誘客促進事業委託料	4,318,000円																																			
		伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園事業委託料	7,634,000円																																			
		首都圏情報発信事業委託料	871,244円																																			
		廃棄物処理業務委託料	34,100円																																			
負担金、補助及び交付金	3,000,000円	伊賀ブランド推進事業費補助金(伊賀ブランド推進協議会)	2,500,000円																																			
		伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会in天神橋筋商店街負担金	500,000円																																			
計	17,038,947円																																					

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金		0	6,226	1,250	(令和4年度分)	
		地方債		0	0	0	【国庫支出金】地方創生推進交付金:6,226千円	
		その他		0	2,159	1,342	【その他財源】ふるさと応援基金繰入金:2,159千円	
		一般財源		10,031	8,654	6,945	(令和5年度分)	
	合計(A)	0	10,031	17,039	9,537	【国県支出金】デジタル田園都市国家構想交付金:1,250千円		
	事業費	正規職員	業務量	人	人	1.35 人	1.50 人	【その他財源】ふるさと応援基金繰入金:1,342千円
			人件費	0	0	10,445	11,558	
		再任用職員	業務量	人	人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	人	人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	0	0	10,445	11,558				
合計(A+B)	0	10,031	27,484	21,095				
市民1人当たりのコスト(円)	0	115	314	245				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	営業活動件数	営業本部における重点取組に位置付けられた事業、取り組み等の件数	件	目標	-	20	22
				実績	-	22	
指標化できない成果		達成	-	110.0%			

方向	統合	課題	営業活動は各課が主体となり実施されるものであるため、令和5年度中に廃止、統合に向けた調整を行う必要がある。大阪関西万博に向けた効果的な営業活動に向けた検討に着手する必要がある。
	改善案		I. 令和5年度において忍者市プロジェクト事業(観光戦略課)、地場産振興事業・企業立地促進経費・雇用労働者対策事業(商工労働課)等への予算振り分け、統合について整理し、令和6年度から本事務事業を廃止する。

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-04
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光情報等発信経費	担当部署	総務部秘書広報課	課長 川部 千佳 0595-22-9600

事務事業の概要	対象	国内・外の観光客、食材扱い業者		
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。		
	根拠法令等	観光振興ビジョン、シティプロモーション指針		
	内容	<p>トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動を行いました。</p> <p>1. 観光誘客のためのPR活動(伊賀流忍者、伊賀上野城、俳聖松尾芭蕉生誕の地) ・首都圏及び大阪における伊賀市のPR活動 ・ラジオ番組への出演</p> <p>2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動(伊賀牛、伊賀米、伊賀酒、伊賀焼など)</p> <p>3. 地域振興のためのトップセールス</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	239,265円	観光誘客PR	
	需用費	599,960円	消耗品費(PR用記念品等)	
	役員費	4,840円	手数料	
	使用料及び賃借料	400円	駐車場借上料	
	計	844,465円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	350	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	704	1,016	844	1,367		
	合計(A)	704	1,366	844	1,367		
事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人		0.02 人
		人件費	156	155	155		155
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人		0.20 人
		人件費	320	324	324		336
小計(B)	476	479	479	491			
合計(A+B)	1,180	1,845	1,323	1,858			
市民1人当たりのコスト(円)		14	22	16	22		

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
伊賀市の認知度	地域ブランド調査による伊賀市の認知度のスコアから、トップセールスの効果を表す。	位	目標	200	200	190	180
			実績	210	188		
指標化できない成果		達成	95%	106%			

方向	改善	課題	これまで、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いトップセールスの機会が限定されてきたが、今後はトップセールスに費やす時間に配慮した公務日程を行う必要がある。
	改善案	改善案	感染症の収束状況に注視しながら、市外へ出向いてのトップセールスに加え、オンラインなどでDXを活用した発信にも取り組んでいく。今後、トップセールスの効果が表れるような機会に注視し、公務日程に入れるよう調整する。

整理番号
362 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H30 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-07
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	忍者市プロジェクト事業	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 福井 浩 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、市民		
	目的	「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ体制の充実を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>■にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料及び忍者体験施設設計業務委託料          中心市街地のにぎわい創出に向けて、上野公園から城下町エリア(忍者体験施設周辺)を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、エリア内の公共施設や民間施設の一体的な利活用について民間活力を導入し、PFI方式による施設整備(忍者体験施設整備:周辺エリアを包括的に捉えたエリアマネジメントによるまちめぐり拠点及び観光まちづくり拠点の整備)を推進しており、令和4年度は次の取組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優先交渉権者の選定及び基本協定書の締結</li> <li>・SPC((株)伊賀市にぎわいパートナーズ)との事業契約の締結</li> <li>・SPCによる忍者体験施設の基本設計</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	謝礼報酬	381,408円	伊賀市にぎわい忍者回廊整備事業における事業者選定委員会報酬 381,408円	
	委託料	45,340,000円	にぎわい忍者回廊民間活力導入支援業務委託料 10,340,000円 忍者体験施設設計業務委託料 35,000,000円	
	旅費	200,360円		
	印刷製本費	260,700円	上野城跡(第14次)発掘調査報告書の印刷(成瀬屋敷跡) 260,700円	
	計	46,200,468円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	10,604	30,863	22,801	55,000	【国県支出金】 ・地方創生推進交付金 22,800,350円 【その他】 ・ふるさと応援基金繰入金 22,800,350円
	地方債	0	11,500	0	133,800	
	その他	8,129	15,256	22,670	0	
	一般財源	2,512	5,916	730	53,985	
	合計(A)	21,245	63,535	46,201	242,785	
事業費	正規職員	業務量	1.50 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人
		人件費	11,646	15,474	15,474	15,410
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
小計(B)	11,646	15,474	15,474	15,410		
合計(A+B)	32,891	79,009	61,675	258,195		
市民1人当たりのコスト(円)		369	900	703	2,988	

指標名	指標の説明	単位	令3年度	令4年度	令5年度	令6年度
市の認知度	地域ブランド調査(全国1,000市町村を対象としたランキング)	位	目標	200	190	180
			実績	210	188	
指標化できない成果		達成	95.24%	103%		

方向	充実	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SPC(にぎわいパートナーズ)によるPFI事業のモニタリングを適切に実施する必要がある。</li> <li>・にぎわい忍者回廊のエリアにおける受入環境整備を進める必要がある。</li> <li>・忍者の聖地としてのブランディング及びその情報発信をより効果的に行う必要がある。</li> </ul>
		改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、有識者や専門家へのアドバイスを求めながら、SPCのモニタリングを適切に行う。</li> <li>・上野公園周辺における未利用の市有観光施設について、民間活力導入を含めた利活用方針を検討する。</li> </ul>

整理番号
363 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-08
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光振興管理経費	担当部署	課長 福井 浩 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客		
	目的	観光施設の適正な維持管理を行うとともに、テーマや地域に関連する広域観光を推進することにより観光客の増加を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>◇伊賀市観光大使による情報発信・PR活動を支援した。新たにFIFAワールドカップカタール大会日本代表の町野修斗選手を伊賀市観光大使に任命した。</p> <p>◇上野管内の観光関連施設を維持管理した。</p> <p>【対象施設】伊賀市観光案内所、だんじり会館、公園内便益施設等</p> <p>◇老朽化した観光案内看板について計画に基づき改修及び撤去を行った。</p> <p>◇テーマや地域に関連する広域観光協議会に参画し、情報共有及び連携を図った。</p> <p>【協議会】忍びの里伊賀甲賀忍者協議会、日本忍者協議会、伊賀流忍者観光推進協議会、国際忍者学会、三重県観光連盟、東海地区外国人観光客誘致促進協議会、歴史街道推進協議会、伊賀上野観光協会、室生赤目青山国定公園協会、東大和西三重観光連盟、鈴鹿国定公園協会、東海自然歩道連絡協会、日本百名月観光プロジェクト、忍びの里伊賀創生プロジェクト</p> <p>◇地域活性化企業人制度を活用し、観光地域づくりに資する企画立案業務を委託した。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	6,686,483円	消耗品費、光熱水費 569,383円 だんじり会館空調機器維持整備修繕等 6,117,100円	
	役務費	146,132円	電話使用料 146,132円	
	委託料	37,782,000円	だんじり会館指定管理料 23,197,000円 観光案内所運営業務委託料 7,986,000円 地域活性化企業人等活動支援事業委託料等 6,599,000円	
	使用料及び賃借料	633,516円	土地建物借上料等 633,516円	
	工事請負費	1,625,800円	工作物等撤去工事費 1,625,800円	
	負担金、補助及び交付金	9,439,000円	各種協議会負担金等 9,439,000円	
	報酬、償還金等	3,892,529円		
	計	60,205,460円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国庫支出金	645	508	195	411		
		地方債	0	5,300	5,300	0		
		その他	32,704	36,629	8,700	518		
		一般財源	24,574	18,477	46,011	17,509		
	合計(A)	57,923	60,914	60,206	18,438			
	事業費	正規職員	業務量	1.80 人	1.80 人	1.80 人		1.50 人
			人件費	13,976	13,927	13,927		11,558
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人		
	人件費	1,197	1,213	1,213	1,260			
小計(B)	15,173	15,140	15,140	12,818				
合計(A+B)	73,096	76,054	75,346	31,256				
市民1人当たりのコスト(円)	819	867	859	362				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	来訪者の満足度	DMOの来訪者アンケート(10段階評価の8~10と回答した人の割合)	%	目標	54	56	58	60
				実績	51.94	57.52		
指標化できない成果			達成	96.19%	102.71%			

方向	改善課題	施設の老朽化が進んでいるため、指定管理施設等の維持管理について検討が必要。
	改善案	優先順位をつけて計画的に施設の修繕を進めるため、利活用計画の更新を進める。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度~	R6 年度	01-07-01-03-01-09
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光地域づくり支援事業	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 福井 浩 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、観光客を受け入れようとする市民(団体)		
	目的	地域資源の観光商品化及び観光客を受け入れる組織の育成、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い観光客の増加を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>◇観光地域づくり法人(DMO)を中心に多様な主体が連携・協力し、施策づくりや情報発信をはじめ、観光を産業として確立すべく、総合的な観点から観光まちづくりを推進した。</p> <p>①人材育成事業「観光まちづくり企画塾」観光コンテンツ開発(2件)、新しいお土産物開発(2件)、SNS等での情報発信に取り組んだ。(企画塾参加者17名)、②城下町デジタルテーマパーク事業等により開発した周遊プログラムを周年利用可能な体制とした、③「忍びの里伊賀」創生観光コンテンツ造成・磨き上げ事業(3件採択)、④情報発信(新しいパンフレットの作成)女子旅ドライブin伊賀 2022(R4)年8月発行(30,000部)、伊賀酒で酒旅 2023(R5)年2月発行(30,000部)、山歩きマップ2023(R5)年3月(webのみ)、⑤三重県 魅力的な観光地づくり補助金を活用したweb統合、三重県観光PFと連携できる新規アンケートシステム導入、⑥イガコレ観光EXPO(市民向け啓発事業)の開催</p> <p>◇伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」の開催支援</p> <p>地域全体で観光客を受け入れる態勢づくりのため観光客を受け入れる事業主体の発掘及び育成事業として伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」を実施。令和4年度は年間を通じた受入プログラム造成のため季節ごとの開催とした。</p> <p>いがぶら2022(プログラム数/参加人数/売上)</p> <p>夏(29個/380人/1,328,300円)、秋(33個/581人/2,111,280円)、冬(26個/357人/1,286,200円)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	42,933円	全国DMO会議ほか 42,933円	
	負担金、補助及び交付金	26,518,000円	いがぶら実行委員会負担金 5,300,000円 DMO事業推進負担金 21,218,000円	
	計	26,560,933円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	12,087	13,259	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	283	10,609	10,609	0	
	一般財源	12,086	2,741	2,693	17,688	
	合計(A)	24,456	26,609	26,561	31,238	
事業費	正規職員	業務量	2.50 人	2.50 人	2.50 人	3.00 人
		人件費	19,410	19,343	19,343	23,115
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
		人件費	1,596	1,617	1,617	1,679
	小計(B)	21,006	20,960	20,960	24,794	
	合計(A+B)	45,462	47,569	47,521	56,032	
	市民1人当たりのコスト(円)	510	542	542	649	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	観光消費額	三重県観光レクリエーション入込客数推計所:伊賀地域の観光客の消費単価(宿泊・日帰りの平均)	円	目標	12,154	13,188	14,222	15,257
				実績	11,827	11,834		
	指標化できない成果		達成	97.3%	89.7%			

方向	改善課題	<p>①伊賀ぶらり体験博覧会「いがぶら」について、滞在型体験商品の造成という本来の目的からの乖離が大きく、スポットイベント的な開催が状態化している。</p> <p>②観光地域づくり法人の事業運営について、実施すべき業務量に対して人員が不足している。</p>
	改善案	<p>I:①いがぶら 令和5年度に現在の運営体制を見直し、伊賀上野DMOの着地型観光推進事業への位置付けを行う。②観光地域づくり法人 地域おこし協力隊の登用や地域民間事業者との連携・役割分担により業務量の最適化を行う。</p> <p>II:①いがぶら 目的に合致する事業として再編成する。②観光地域づくり法人 国等の人材登用に係る支援策等を積極的に利用する。</p>

整理番号
365 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大事業)02観光施設維持管理事業

決算書頁
269

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-03-02-01
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光施設維持管理事業	産業振興部観光戦略課	課長 福井 浩 0595-22-9670	

事務事業の概要	対象	観光客			
	目的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。			
	根拠法令等				
	内容	<p>来訪者の満足度及び利便性の向上のため、伊賀・青山管内の観光施設及びその周辺の維持管理を行った。</p> <p>【対象施設】 伊賀管内：白藤滝、奥余野公園、霊山 青山管内：ふるさと公園、青山高原山頂小屋、尼ヶ岳、桜山公園、兼好塚</p> <p>観光施設維持管理業務委託内訳(都市計画課分) ・余野公園・奥余野森林公園 草刈清掃等業務委託(委託先：余野公園管理協会) ・余野公園蒸気機関車保存管理業務委託(委託先：日本鉄道OB会柘植支部)</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	1,583,527円	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕費ほか 1,583,527円		
	役務費	502,047円	青山高原山頂小屋電話代 32,416円 トイレ汲み取り、浄化槽清掃・点検費ほか 469,631円		
	委託料	9,457,542円	観光施設維持管理業務委託料 8,836,682円 浄化槽清掃等保守点検業務委託料 420,860円 樹木剪定伐採等委託料 200,000円		
	使用料及び賃借料	208,560円	霊山トイレ用地借上 50,000円 山頂小屋床用モップ借上 21,120円		
	計	11,751,676円			

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	2,469		2,107		2,107		3,220		【国県支出金】 ふるさと公園維持管理委託金 2,107,000円 【その他】 室生赤目 青山国定公園協会奨励金 50,000円
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		4,494		
	一般財源	9,870		9,815		9,645		54,798		
	合計(A)	12,339		11,922		11,752		62,512		
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.46 人		業務量 0.45 人		業務量 0.62 人		業務量 1.60 人		
		人件費 3,572		人件費 3,482		人件費 4,797		人件費 12,328		
	再任用職員	業務量 0.00 人								
		人件費 0		人件費 0		人件費 0		人件費 0		
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人								
		人件費 0		人件費 0		人件費 0		人件費 0		
	小計(B)	3,572		3,482		4,797		12,328		
	合計(A+B)	15,911		15,404		16,549		74,840		
	市民1人当たりのコスト(円)	179		176		189		867		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	委託者との運営協議回数		各施設において、委託者と施行運営において協議を行なった回数(各施設毎)	回	目標	4	4	4
					実績	4	4	
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	施設の維持管理についてはどの施設も老朽化が進み、修繕箇所が多発している。
	改善案		<p>I：修繕の優先度合いを精査し、限られた予算内で効率的・効果的に行うことで、施設の適正な維持管理に努める。</p> <p>II：三重県が所管する施設については、県と協議を行い、大規模修繕や災害による破損箇所の改修に係る要望を行う。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-03-02-02
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	東海自然歩道管理経費	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 福井 浩 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	東海自然歩道		
	目的	東海自然歩道を保全する。		
	根拠法令等			
	内容	三重県が所管する伊賀・阿山・大山田・青山管内の東海自然歩道について、同県から東海自然歩道維持業務を受託し、自然歩道区間のパトロール及び除草作業、休憩所及び公衆便所の清掃作業等を実施した。 ・パトロール業務実施区間 53.6km ・清掃草刈業務実施区間 25.2km×2巡 (伊賀6.5km、阿山3.7km、大山田6.9km、青山8.1km) ・休憩所及び公衆便所清掃業務(新大仏寺路傍休憩所、奥余野公園)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	84,999円	消耗品費、光熱水費等	84,999円
	役務費	355,825円	公衆便所し尿汲み取り業務	355,825円
	委託料	1,493,900円	東海自然歩道パトロール及び草刈清掃業務委託	1,493,900円
	計	1,934,724円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	1,104		1,104		1,104		0		【国県支出金】 ・東海自然歩道管理委託金 1,104,330円 ※R5年度については観光施設維持管理事業に統合
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	704		864		831		0		
	合計(A)	1,808		1,968		1,935		0		
事業費	正規職員	業務量	0.01 人	0.10 人	0.40 人					
		人件費	78	774	3,095		0			
	再任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	354	0	0		0			
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
	人件費	0	0	0		0				
	小計(B)	432		774		3,095		0		
	合計(A+B)	2,240		2,742		5,030		0		
	市民1人当たりのコスト(円)	26		32		58		0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	パトロール回数	各地区において、巡回パトロールを行った件数	件	目標	4	4	4	4
				実績	4	4		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	道路管理者等がない路線においては、歩道の階段や案内標識の破損、倒木及び土砂の崩落等が発生しており、利用者の安全確保が十分に図られていない。
	改善案		I:パトロール巡視を強化し、補修を要する位置の把握、危険箇所の情報提供を行うとともに、パトロール業務委託者や土地所有者と協議を行い、直営による改修が実施可能なものについては応急的な補修を行い、良好な環境を維持する。 II:利用者の安全及び利便の確保を図る観点から、県と協議を行い、計画的な改修及び案内標識等の整備を要望する。他方で改善困難な歩道については認定路線の見直しを視野に入れ県と協議する。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R5 年度	01-07-01-03-02-03
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	ふるさとの森公園管理費	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 福井 浩 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	ふるさとの森公園の利用者		
	目的	施設利用者のニーズに沿った施設管理を行う		
	根拠法令等	阿山ふるさとの森公園条例、阿山ふるさとの森公園管理規則		
	内容	阿山ふるさとの森公園を適正に運営するため、施設の管理及び維持管理業務を実施した。 ・ふるさとの森公園周辺公共施設の利活用検討に係るサウンディング調査費用(財務部資産経営課)		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	4,202,499円	消耗品費・燃料費・印刷製本費・光熱水費・修繕料	4,202,499円
	役務費	214,937円	通信運搬費・手数料	214,937円
	委託料	8,272,000円	阿山ふるさとの森公園管理運営委託料	4,675,000円
			浄化槽清掃等保守点検業務委託料	158,950円
			警備業務委託料	224,400円
			倒木処理業務委託料	221,650円
			民連携事業者選定支援業務委託料	2,992,000円
	使用料及び賃借料	704,648円	寝具・リネン類賃借料	648,645円
			テレビ受信料	56,003円
	計	13,394,084円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	【その他】 ・公園施設使用料 3,198,534円 ・売上収入 40,050円 ・備品貸付料 694,870円 ※令和5年度から観光施設維持管理事業に統合	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	3,531	4,494	3,934	0	0	0	0		
		一般財源	13,610	7,917	9,461	0	0	0	0		
		合計(A)	17,141	12,411	13,395	0	0	0	0		
	人件費	正規職員	業務量	0.86 人	0.86 人	0.86 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	6,678	6,654	6,654	0	0	0		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0	0	0	0			
	小計(B)	6,678	6,654	6,654	0	0	0	0			
	合計(A+B)	23,819	19,065	20,049	0	0	0	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	267	218	229	0	0	0	0			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	観光客入込数	施設を利用した観光客数	人	目標	4000	4000	4000	4000
				実績	1908	1715		
指標化できない成果			達成	47.7%	42.9%			

方向	民間活力導入	課題	民間による公募型利活用提案を導入し、阿山ふるさとの森公園、道の駅あやま及びあやま文化センターの三施設を一体的に利活用するという方針が決定している。
		改善案	I:サービスの拡充や経済性の向上を図るため、民間活力導入を推進する。民間提案事業者が決定するまでの間、現状どおりの委託方式による施設の運営管理を行う。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大-事業-中-事業</b>	
	施策	3-5 商工業・産業立地	R2 年度～ R4 年度	01-07-01-04-01-02	
	基本事業	① 商工業の活性化	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費		産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	事業者及び市民		
	<b>目的</b>	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等に対し、支援を行う。		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	・新型コロナウイルス感染症による経済への影響を緩和するとともに、地域における消費の拡大、経済活性化を目的として商工団体等が実施するプレミアム商品券発行事業及びキャッシュレス決済ポイント還元事業に対して補助金を交付しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	負担金、補助及び交付金	255,951,298円	プレミアム付商品券事業補助金 (地域経済活性化事業実行委員会) 163,868,823円 キャッシュレス決済ポイント還元事業補助金 (地域経済活性化事業実行委員会) 92,082,475円	
	計	255,951,298円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国庫支出金	430,961	0	0	255,952	0	0	0	【国庫支出金】新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金:255,952千円	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	94,423	0	0	0	0	0	0		0
		一般財源	0	0	0	0	0	0	0		0
		合計(A)	525,384	0	0	255,952	0	0	0		0
<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	正規職員	業務量 0.65 人	0.00 人	0.40 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	5,047	0	3,095	0	0	0	0		
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 2.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	3,192	0	162	0	0	0	0	0	
小計(B)		8,239	0	3,257	0	0	0	0	0		
合計(A+B)		533,623	0	259,209	0	0	0	0	0		
市民1人当たりのコスト(円)		5,979	0	2,953	0	0	0	0	0		

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	実績	達成	達成
プレミアム付商品券販売額	事業内容に応じてR3指標を参考記載(新型コロナウイルス対策事業者応援給付件数)	千円(件)	目標	- (700)	250,000 (-)	-	-
			実績	(972)	247,725 (-)		
指標化できない成果			達成	- (138.9%)	99.1% (-)		

<b>方向</b>	<b>廃止</b>	<b>課題</b>	
	<b>改善案</b>		新型コロナウイルス感染症対策として年度ごとに事業内容が異なるため、指標化や評価ができない。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R4 年度～	R4 年度	01-07-01-04-01-06
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	地場産業振興事業	担当部署	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	施設利用者、伊賀焼事業者等		
	目的	施設の適切な状態を維持することにより、利用促進を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>・伊賀焼伝統産業会館の施設内を清潔に保ち、感染症対策も徹底した上で来館者に快適に利用していただけるよう、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、空調機器を更新しました。</p> <p>天吊型エアコン3台(展示室、ホール、実技研修室)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	6,991,600円	伊賀焼伝統産業会館施設改修工事費(空調機器更新)	6,991,600円
	計	6,991,600円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国庫支出金				6,992				【国庫支出金】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:6,992千円	
		地方債				0					
		その他				0					
		一般財源				0					
		合計(A)	0	0	6,992	0					
	人件費	正規職員	業務量				0.05				
			人件費	0	0	387	0				
		再任用職員	業務量				0.00				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量				0.00				
人件費	0	0	0	0							
小計(B)	0	0	387	0							
合計(A+B)	0	0	7,379	0							
市民1人当たりのコスト(円)	0	0	85	0							

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	伊賀焼伝統産業会館・伊賀焼伝統伝承館の来客数	伊賀焼伝統産業会館・伊賀焼伝統伝承館の来客数	人	目標	15,000	22,000	-	-
				実績	13,416	19,955		
指標化できない成果			達成	89.4%	90.7%			

方向	廃止	課題	事業目的が達成されたため本事務事業は廃止とするが、施設の維持管理については計画的に行っていく必要がある。
		改善案	他の事務事業において施設の適正な維持管理を計画的に進める。

整理番号
370 -

決算書頁
271

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-01-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	一般事務経費		建設部建設管理課

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	土木施設の管理全般及び期成同盟会活動		
	根拠法令等			
	内容	<p>市道等の土木施設管理や加盟している期成同盟会活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路河川や砂防関係等の許認可業務(969件)、道路等の境界査定や用途廃止手続業務(185件)、太陽光発電設備設置に関する指導業務(21件)を実施。</li> <li>・一筆測量業務委託(道路敷未登記処理等)=4件</li> <li>・伊賀市道路台帳等修正業務委託=1式</li> <li>・国(国土交通省等)や関係機関への要望活動を実施。</li> <li>・三重県社会基盤整備協会への負担金及び、加盟している期成同盟会(2件)へ負担金を支出。</li> </ul>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	旅費	392,211円		
	需用費	485,533円	消耗品費	
	役務費	1,782,700円	賠償責任保険料 1,764,360円	
	委託料	12,444,302円	通信運搬費、手数料 18,340円	
	使用料及び賃借料	1,584,506円	一筆測量業務委託料 808,502円	
	負担金・補助金及び交付金	1,847,000円	電算関係(道路台帳更新等)委託料 11,635,800円	
			システム等使用料 1,549,106円	
			有料道路通行料等 35,400円	
	計	18,536,252円	期成同盟会等負担金(3件)	

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	業務量	人件費	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0					道路幅員等証明手数料 2,100円 複写料 40,496円
	地方債	0	0							
	その他	21	428			42	423			
	一般財源	20,565	20,520			18,495	20,859			
	合計(A)	20,586	20,948			18,537	21,282			
事業費 人件費	正規職員	業務量 3.53 人	人件費 27,407	業務量 4.34 人	人件費 33,579	業務量 4.27 人	人件費 33,037	業務量 3.48 人	人件費 26,814	
	再任用職員	業務量 0.60 人	人件費 2,119	業務量 0.00 人	人件費 0	業務量 0.00 人	人件費 0	業務量 0.79 人	人件費 2,783	
	会計年度任用職員	業務量 1.00 人	人件費 1,596	業務量 1.60 人	人件費 2,588	業務量 1.80 人	人件費 2,911	業務量 1.80 人	人件費 3,023	
	小計(B)		31,122		36,167		35,948		32,620	
	合計(A+B)		51,708		57,115		54,485		53,902	
	市民1人当たりのコスト(円)		580		651		621		624	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標			
	指標化できない成果	通常の土木施設の管理業務及び、期成同盟会活動(他市町村との組織)であるため。		達成			

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)03国県土木事業対策経費	決算書頁
371 -		273

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-01-01-03-01
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等
	事務事業名	県営土木事業負担金	建設部建設管理課	評価責任者・連絡先 課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	安全・安心な住環境整備の促進を図る		
	根拠法令等			
	内容	<p>【県営都市計画街路事業】事業主体:三重県 ・服部橋新都市線(伊賀白鳳高校から北へ延びる延長約600m)の拡幅工事等を実施しており、伊賀市は工事費の6分の1を負担金として支出しました。</p> <p>【砂防整備交付金事業(急傾斜地崩壊対策事業)】事業主体:三重県 ・斜面の崩壊が懸念される奥馬野地区(ライトピアおおやまだ裏)において、斜面の崩壊対策工事を実施しています。伊賀市は工事費の20分の1(奥馬野地区:公共関連大規模傾斜)を負担金として支出しました。</p> <p>【県単急傾斜地災害緊急対策事業】事業主体:三重県 ・急傾斜地崩壊危険区域に指定されている石川地区において、擁壁工を実施しました。伊賀市は事業費の10分の1を負担金として支出しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	21,781,167円	県営都市計画街路事業負担金 16,487,167円 砂防整備交付金事業(急傾斜地崩壊対策事業)負担金 4,584,000円 県単急傾斜地災害緊急対策事業負担金 710,000円	
	計	21,781,167円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	0				
	地方債	29,700	11,400				
	その他	2,903	1,000	355			
	一般財源	4,449	2,434	21,427			
	合計(A)	37,052	14,834	21,782	0		
事業費	正規職員	業務量	0.26 人	0.26 人			
		人件費	2,019	2,012	0		0
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0		0
小計(B)	2,019	2,012	0	0			
合計(A+B)	39,071	16,846	21,782	0			
市民1人当たりのコスト(円)		438	192	249	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	事業主体が三重県であり、負担金のみを支出しているため		達成			

方向	継続	課題
		改善案

整理番号
372 -

決算書頁
273

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～	R6 年度	01-08-02-02-01-01
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	道路維持経費	担当部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する道路			
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する			
	根拠法令等				
	内容	<p>道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。</p> <p>管理延長 L=約2,300km</p> <p>令和4年度は、329箇所の道路修繕等を行いました。 また、市道の草刈業務委託63件及び雪氷対策業務委託39工区の委託を実施しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	77,534,388円	消耗品費、燃料費85地区、光熱水費	13,440,521円	
	役務費、使用料及び賃借料	1,452,352円	修繕料(道路小修繕等329件)	64,093,867円	
	委託料	119,218,128円	手数料、自動車借上料等		
			道路維持管理業務委託95件	17,496,523円	
			草刈業務委託63件	58,329,800円	
			街路樹管理業務委託13件	16,867,400円	
			融雪剤散布等業務委託98件等	26,524,405円	
	工事請負費	4,084,850円	側溝改修工事1件、側溝補修・整備工事2件等		
	原材料費	32,077,411円	融雪剤4,640袋、生コン358m <sup>3</sup> 、切込砕石703m <sup>3</sup> 等		
	備品購入費	4,070,000円	凍結防止剤散布機2台		
	計	238,437,129円			

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	環境保全基金繰入金	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	3,223		40,885		8,645		45,323		
		一般財源	206,962		158,375		229,792		176,355		
		合計(A)	210,185		199,260		238,437		221,678		
事業費	人件費	正規職員	業務量 8.50 人	3.75 人	3.75 人	3.05 人					
		人件費	65,994	29,014	29,014	23,501					
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0	0					
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
		人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	65,994	29,014	29,014	23,501						
	合計(A+B)	276,179	228,274	267,451	245,179						
	市民1人当たりのコスト(円)	3,095	2,601	3,047	2,838						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	-	-	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)01臨時地方道整備事業	決算書頁
373 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-03-01-01
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	臨時地方道整備事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する道路		
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	道路を通行者が安全に安心して通行できるよう、道路改良や舗装修繕等の工事を実施します。 令和4年度は、舗装修繕工事24件、法面対策工事1件、道路照明灯改修工事2件、側溝等整備工事3件、交差点隅切部改良工事1件の計31件の工事を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,607,110円	消耗品費、燃料費	
	工事請負費	266,887,800円	市道四十九町ゆめが丘線道路照明灯修繕工事 24,614,700円 市道榎野谷線道路法面崩落対策工事 23,757,400円 市道丸之内伊賀上野橋線舗装修繕工事 22,292,600円 市道愛宕町緑ヶ丘南町線舗装修繕工事 16,989,500円 市道大山田伊賀線舗装修繕工事 14,886,300円 市道農人町緑ヶ丘東町線舗装修繕工事 14,157,000円 市道愛宕町崇広堂線舗装修繕工事 13,325,400円 その他工事24件 136,864,900円	
	原材料費	90,750円		
	計	268,585,660円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	22,851	0	0	0	0	0	0	緊急自然災害防止対策事業債 環境保全基金繰入金
		地方債	131,500	253,300	239,700	162,600				
		その他	6,406	12,000	11,722	11,459				
		一般財源	8,085	3,962	17,164	2,062				
		合計(A)	168,842	269,262	268,586	176,121				
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.40 人	1.55 人	1.55 人	1.25 人				
		人件費	10,870	11,993	11,993	9,632				
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	小計(B)	10,870	11,993	11,993	9,632					
	合計(A+B)	179,712	281,255	280,579	185,753					
	市民1人当たりのコスト(円)	2,014	3,204	3,196	2,150					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画修繕箇所数	実施箇所数/全箇所	%	目標	9.8	42.6	55.7	78.7
				実績	9.8	42.6		
指標化できない成果			達成	100	100			

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
374 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R5 年度	01-08-02-03-02-04
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業	建設部道路河川課	評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	<p>国道163号線と市道荒木木興線(緑ヶ丘地内)を接続する重要な幹線道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m</p> <p>令和4年度は、道路改良工事L=100m、迂回路撤去工事N=1箇所、用地取得N=2件、移転補償N=2件を実施しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	700,740円	消耗品費、燃料費	
	役務費	10,078円	通信運搬費、手数料	
	委託料	192,500円	用地測量設計委託料 192,500円	
	工事請負費	37,608,170円	道路改良工事 24,766,500円	
			迂回路撤去工事 11,115,000円	
			その他工事3件 1,726,670円	
	公有財産購入費	33,781,484円	道路改良事業用地取得2件 33,781,484円	
	補償、補填及び賠償金	46,588,009円	残地補償 2,040,708円	
			物件移転補償2件 44,547,301円	
	原材料費	317,493円	資材費	
	計	119,198,474円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備総合交付金50% 補正予算債、公共事業等債
		国県支出金	98,278	84,911	54,701	29,825	
		地方債	84,860	79,900	51,800	28,500	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	18,479	8,109	12,697	3,075	
	合計(A)	201,617	172,920	119,198	61,400		
	事業費 人件費	正規職員	業務量 1.00 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	
		人件費	7,764	5,803	5,803	5,779	
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
人件費	0	0	0	0			
小計(B)	7,764	5,803	5,803	5,779			
合計(A+B)	209,381	178,723	125,001	67,179			
市民1人当たりのコスト(円)	2,346	2,036	1,424	778			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	90	99	99.9
				実績	90	99	
指標化できない成果	国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。	達成	100	100			

方向	改善課題	重要な幹線道路であるうえに、消防署の緊急出動ルートとしても早期完成が望まれています。また全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。またコストの見直しと工事の早期発注を行います。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
375 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-05
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	依那古友生線他1線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	<p>農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる舗装幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であるため危険であり、車両の対向に苦慮しています。対面通行が出来るよう整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。</p> <p>事業概要 延長L=780m、幅員W=7.0m</p> <p>令和4年度は、道路改良工事L=100m、測量業務N=1件、設計業務N=1件、用地取得N=1件、補償(立木・工作物)N=2件を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	626,518円	消耗品費、燃料費	
	役務費	91,410円	通信運搬費、手数料	
	委託料	7,370,000円	測量設計委託2件 7,271,000円 土地鑑定業務委託 99,000円	
	工事請負費	20,695,400円	道路改良工事 20,695,400円	
	公有財産購入費	1,296,680円	用地取得費 1,296,680円	
	補償、補填及び賠償金	1,707,476円	道路改良事業補償2件 1,707,476円	
	計	31,787,484円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	25,664	25,000	15,485	66,000	
		地方債	25,800	24,500	14,600	52,500	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,156	2,090	1,702	3,253	
	合計(A)	52,620	51,590	31,787	121,753		
	事業費	正規職員	業務量	0.60 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人
			人件費	4,659	5,030	5,030	5,009
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)	4,659	5,030	5,030	5,009			
合計(A+B)	57,279	56,620	36,817	126,762			
市民1人当たりのコスト(円)	642	645	420	1,467			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	66	75	99	100
				実績	66	75		
指標化できない成果	国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。	達成	100	100				

方向	改善課題	全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。またコストの見直しと工事の早期発注を行います。

整理番号 376 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁 275
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-07
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	舗装修繕事業		建設部道路河川課
				評価責任者・連絡先 課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路		
	目的	市が管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に見出すとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	<p>市が所管する市道の中で、交通量の多い生活道路や大型車の通行量が多く、舗装の損傷が著しい幹線道路について、計画的に舗装修繕を行います。</p> <p>事業概要 延長L=9,000m(R3年度～R8年度)</p> <p>令和4年度は、舗装補修工事3路線、L=1,270mを実施しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費・役務費	827,614円	消耗品費、燃料費、通信運搬費	
	委託料	5,245,614円	土質調査業務委託2件等	
	工事請負費	140,523,900円	舗装修繕工事3件	
	原材料費	107,800円	資材費	
	計	146,704,928円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接 事業費	国県支出金	52,422		86,440		71,346		75,885		社会資本整備総合交付金50% 補正予算債、公共事業等債
	地方債	48,700		85,300		69,600		77,000		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	5,998		4,044		5,759		1,876		
	合計(A)	107,120		175,784		146,705		154,761		
事業費 人件費	正規職員	業務量	1.17 人	0.75 人		0.75 人		0.80 人		
		人件費	9,084	5,803		5,803		6,164		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
		人件費	0	0		0		0		
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
		人件費	0	0		0		0		
	小計(B)		9,084	5,803		5,803		6,164		
	合計(A+B)		116,204	181,587		152,508		160,925		
	市民1人当たりのコスト(円)		1,302	2,069		1,738		1,863		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	14	33	51	66
				実績	14	33		
指標化できない成果	国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。		達成	100	100			

方向	改善	課題	管内の幹線道路については、舗装路面の劣化が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られますが、全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。
		改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、緊急性が高く交通量の多い主要道路から修繕工事を実施し、安全に通行出来る様進捗を図る必要があります。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
377 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R4 年度～	R8 年度	01-08-02-03-02-13
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	通学路整備事業	担当部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する市道上の通学路			
	目的	通学路の危険箇所を改善し、通学児童の安全・安心な歩行空間を確保する			
	根拠法令等				
	内容	<p>通学児童の安全・安心な歩行空間を確保するために、通学路交通安全プログラムに基づき通学路の危険箇所を改善し、交通安全対策を行う。</p> <p>事業概要  市道愛宕町緑ヶ丘南町線歩道整備 L=170m  市道服部高畑寺田線歩道拡幅 L=30m  市道車坂寺田橋線歩道整備 L=130m  市道東條羽根線歩道整備 L=160m</p> <p>令和4年度は、市道愛宕町緑ヶ丘南町線歩道整備工事及び市道服部高畑寺田線歩道拡幅工事を実施しました。</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	492,870円	消耗品費		
	委託料	281,600円	測量設計委託料		
	工事請負費	11,066,750円	歩道整備工事 9,700,000円 その他工事4件 1,366,750円		
	計	11,841,220円			

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 社会資本整備総合交付金 公共事業等債			
		国県支出金	0	13,750	6,242	10,945				
		地方債	0	11,100	5,000	8,700				
		その他	0	0	0	0				
		一般財源	0	770	599	10,717				
	合計(A)	0	25,620	11,841	30,362					
	事業費 人件費	正規職員	業務量	人	0.25	人	0.25	人	0.52	人
			人件費	0	1,935	1,935	4,007			
		再任用職員	業務量	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	0	1,935	1,935	4,007						
合計(A+B)	0	27,555	13,776	34,369						
市民1人当たりのコスト(円)	0	314	157	398						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	通学路交通安全プログラムに記載の補助事業にて整備すべき箇所の整備率	%	目標	-	45	60	85
				実績	-	45		
指標化できない成果	通学路交通安全プログラムにおける危険箇所の洗い出しと対応検討	達成	-	100				

方向	改善課題	通学児童の重大事故が全国で相次いでおり、迅速な歩行空間の整備が喫緊の課題となっています。また、交通の安全を守るためには、ハード整備だけでなく、ルール・マナー等のソフト対策についても周知が必要となります。
	改善案	通学路交通安全プログラムにおいて、重点整備箇所の選定や整備優先順位を設定します。また、教育委員会等、関係各課及び地域住民や学校等と連携し事故防止に向けた取り組みを行います。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)02橋梁維持補修事業	決算書頁
378 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R6 年度	01-08-02-04-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁維持補修事業	担当部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する橋梁		
	目的	橋梁の経年劣化に伴う小規模な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	橋梁を常時良好な状態に保つよう、橋梁本体及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。 令和4年度は、橋梁修繕3件を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	200,200円	修繕料 3件	
	委託料	293,700円	橋梁修繕設計業務委託	
	工事請負費	3,460,000円	橋梁補修工事	
	計	3,953,900円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	緊急自然災害防止対策事業債
	地方債	0	0	0	0	3,700	0	6,300	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	500	485	500	485	254	0	716	0	
	合計(A)	500	485	500	485	3,954	0	7,016	0	
事業費	正規職員	業務量	0.14 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.19 人	0.19 人	0.19 人	
		人件費	1,087	1,548	1,548	1,548	1,464	1,464	1,464	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(B)	1,087	1,548	1,548	1,548	1,548	1,464	1,464	1,464	
	合計(A+B)	1,587	2,033	2,033	2,033	5,502	1,464	8,480	1,464	
	市民1人当たりのコスト(円)	18	24	24	24	63	99	99	99	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	-	-	-	-	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 379 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R5 年度	01-08-02-04-04-01
	基本事業	② 橋梁	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する市道に架かる全橋梁		
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める		
	根拠法令等			
	内容	<p>市が所管する橋梁は約1,500橋あり、多くは市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急を要する修繕が必要な橋梁について、損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減及び安全・安心な道路空間の整備を図ります。</p> <p>令和4年度は、橋梁点検業務N=404橋、橋梁補修詳細設計N=4橋、15.0m以上橋梁修繕工事N=3橋、15.0m未満橋梁修繕工事N=12橋を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費・役務費	826,153円	消耗品費、燃料費、通信運搬費	
	委託料	65,759,100円	橋梁修繕設計業務委託3件 17,938,800円 橋梁点検診断業務委託3件 47,667,400円 試験分析検査委託 99,000円 システム保守業務委託 53,900円	
	工事請負費	93,047,500円	市道佐那具波敷野線佐那具橋橋梁修繕工事 19,986,555円 市道寺前橋(古郡領主谷線)橋梁修繕工事 10,270,700円 桜町橋(桜町三田地線)橋梁修繕工事 8,290,700円 その他橋梁修繕工事11件等 43,921,945円 川久保橋(川久保観音寺線)橋梁撤去工事 10,577,600円	
	計	159,632,753円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	82,674		96,809		87,002		102,407		道路メンテナンス事業補助金55% 補正予算債、公共事業等債
	地方債	47,200		45,400		45,100		61,300		
	その他	0		27,000		0		12,600		
	一般財源	23,814		8,525		27,531		12,932		
	合計(A)	153,688		177,734		159,633		189,239		
事業費	正規職員	業務量	0.97 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人				
		人件費	7,532	5,803	5,803	5,779				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.75 人				
		人件費	0	0	0	2,642				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.75 人				
		人件費	0	0	0	1,260				
小計(B)	7,532	5,803	5,803	9,681						
合計(A+B)	161,220	183,537	165,436	198,920						
市民1人当たりのコスト(円)		1,807	2,091	1,885	2,302					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(補修完了橋梁数/補修が必要な橋梁総数)	%	目標	58	69	73	-
				実績	58	69		
指標化できない成果	橋梁点検による修繕必要橋梁数と補助予算の変化に伴い、毎年に目標値の見直しが必要。	達成	100	100				

方向	改善課題	今後、老朽化する橋梁が急速に増加するため、それに伴い修繕の必要な橋梁が増え対処に苦慮していますが、全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、安全・安心な道路空間を確保するため、優先順位を加味した橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び修繕工事を計画的、効率的に実施します。

整理番号 380 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R2 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-02
	基本事業	② 橋梁	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	印代山神線(山神橋)橋梁架替事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道印代山神線(山神橋)		
	目的	山神橋の橋脚基礎部が洗掘により沈下し通行止めとなっており、修繕は不可能なため、架け替えを行う		
	根拠法令等			
	内容	<p>市道印代山神線の山神橋は、昭和29年に架橋され、架橋後60年以上が経過し、橋脚の基礎部が洗掘により著しく沈下したため、平成29年12月から通行止めを実施しています。老朽橋であり、修繕による機能回復は困難であるため、架け替えを行います。</p> <p>事業概要 延長L=157m、新橋幅員W=10.5m</p> <p>令和4年度は、山神大谷線測量業務N=1件、予備設計業務N=1件、山神橋地質調査業務N=1件、詳細設計業務N=1件、橋梁撤去工事(右岸側3径間)L=36mを実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費・役務費	339,911円	消耗品費、通信運搬費	
	委託料	25,614,300円	橋梁詳細設計業務委託	13,280,000円
			道路予備設計業務委託	5,006,100円
			測量業務委託2件	4,006,200円
			地質調査委託	3,322,000円
	工事請負費	58,011,800円	山神橋橋梁撤去工事1件	58,011,800円
	計	83,966,011円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 道路メンテナンス事業補助金55% 公共事業等債
		国県支出金	33,784	68,898	41,198	84,849	
		地方債	23,800	66,800	30,800	67,900	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	7,622	6,715	11,968	12,382	
	合計(A)	65,206	142,413	83,966	165,131		
	事業費	正規職員	業務量	0.54 人	0.84 人	0.84 人	0.80 人
			人件費	4,193	6,500	6,500	6,164
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)	4,193	6,500	6,500	6,164			
合計(A+B)	69,399	148,913	90,466	171,295			
市民1人当たりのコスト(円)	778	1,697	1,031	1,983			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁架け替えによる事業進捗率 (執行事業費/総事業費)	%	目標	11	18	29	35
				実績	11	18		
指標化できない成果	国の交付金交付状況により、目標値の見直しが必要です。	達成	100	100				

方向	改善	課題	橋梁の架け替えには、膨大な時間と費用を必要としますが、全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。また、山神橋北側からR422号へのバイパス道路について、同時に検討する必要があります。
	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算及び予算繰越制度を効率的に活用し、予算の確保に努めます。また、関係機関等と綿密な調整の上、計画的に事業を推進する必要があります。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>		<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>
	<b>施策</b>	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-05-01-01	
	<b>基本事業</b>	① 道路	<b>担当 部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	交通安全施設維持修繕経費		建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

<b>事務事業の概要</b>	<b>対 象</b>	交通安全施設		
	<b>目 的</b>	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内 容</b>	カーブミラー、ガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 令和4年度は、交通安全施設(カーブミラー・ガードレール・区画線等)の設置工事及び修繕工事を99件実施しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	98,450円	消耗品費	
		10,235,530円	修繕料(防護柵6件、道路反射鏡21件、 道路照明6件、区画線等41件)	
	工事請負費	3,212,440円	防護柵0件、道路反射鏡7件、 区画線等18件	
	原材料費	77,550円	資材費(カーブミラー鏡面3枚)	
	計	13,623,970円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	14,046	13,624	13,624	13,097		
		合計(A)	14,046	13,624	13,624	13,097		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.90 人	1.05 人	1.05 人		0.85 人
			人件費	6,988	8,124	8,124		6,550
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
			会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	6,988	8,124	8,124	6,550			
	合計(A+B)	21,034	21,748	21,748	19,647			
	市民1人当たりのコスト(円)	236	248	248	228			

<b>指 標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	-	-	/	/	

<b>方 向</b>	<b>継続</b>	<b>課題</b>	
		<b>改善案</b>	

整理番号
382 -

決算書頁
277

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)01河川総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費	担当部署 建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	安心・安全で、快適な住環境整備の構築を図る		
	根拠法令等			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国(国土交通省等)への要望活動を5回実施しました。</li> <li>・加盟している期成同盟会等(4件)へ負担金を支出しました。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	339,729円		
	需用費	26,480円	消耗品費	
	委託料	12,650円	水の日のお城ライトアップ業務委託料	
	負担金、補助及び交付金	382,000円	期成同盟会等負担金(4件)	
			木津川上流直轄改修促進期成同盟会 260,000円	
			木津川上流砂防事業促進協議会 24,000円	
			全国治水期成同盟会連合会 15,000円	
			近畿直轄ダム事業等促進協議会 83,000円	
	計	760,859円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	0				
	地方債	0	0				
	その他	0	0				
	一般財源	451	798	761	812		
	合計(A)	451	798	761	812		
事業費	正規職員	業務量	0.55 人	0.78 人			
		人件費	4,271	6,035	0		0
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0		0
	小計(B)	4,271	6,035	0	0		
合計(A+B)	4,722	6,833	761	812			
市民1人当たりのコスト(円)		53	78	9	10		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	他市町村と構成されている組織であるため、当市単独で指標を定めることはできない		達成			

方向	継続	課題
		改善案

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)01事務管理経費	決算書頁
383 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-02-01-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	内水による浸水被害箇所		
	目的	内水が起因する浸水被害の軽減		
	根拠法令等			
	内容	<p>内水による浸水被害を軽減するために排水機や樋門、また、排水ポンプや排水ポンプ車を操作、点検します。</p> <p>大戸川小田排水機場外5件点検操作業務委託(点検:各施設月1回)、排水ポンプ車操作(木津川上流河川事務所との合同訓練外1回)及び点検業務を行いました。また、排水ポンプ用発動発電機付属機器類等の修繕を実施しました。なお、令和4年度においては、排水機場や排水ポンプ車両の操作を要する大雨の発生はしなかった。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,147,439円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	委託料	1,495,890円	排水機・樋門等点検操作委託料	1,217,700円
			排水ポンプ車操作・点検業務委託料	278,190円
	計	3,643,329円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	2,937	6,238	3,644	6,554	3,644	6,554	6,554	6,554	
		合計(A)	2,937	6,238	3,644	6,554	3,644	6,554	6,554	6,554	
事業費	人件費	正規職員	業務量 1.04 人	1.24 人	1.00 人	0.88 人	1.00 人	0.88 人	0.88 人		
		人件費	8,075	9,594	7,737	6,781	7,737	6,781	6,781		
		再任用職員	業務量 0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.12 人	0.00 人	0.12 人	0.12 人		
		人件費	354	0	0	423	0	423	423		
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人		
		人件費	0	162	162	168	0	168	168		
	小計(B)	8,429	9,756	7,899	7,372	7,899	7,372	7,372			
	合計(A+B)	11,366	15,994	11,543	13,926	11,543	13,926	13,926			
	市民1人当たりのコスト(円)	128	183	132	162	132	162	162			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費のため。		達成				

方向	改善	課題	今後、大戸川小田排水機場以外の施設においても、経年劣化等によりポンプ施設の大規模な更新作業が発生することが考えられる。
		改善案	日頃より、大規模修繕が発生しないよう適切な管理を行い、施設の長寿命化を図っていく。このための予算の確保にも努める。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-02-02-01	
	<b>基本事業</b>	基本事業なし	<b>担当部署</b>	部・課名等	評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	高山ダム湖河川公園維持管理経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	高山ダム湖河川公園		
	<b>目的</b>	高山ダム湖河川公園の維持・運営管理		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	<p>高山ダム湖河川公園施設の日常の維持・運営管理を行う。</p> <p>公園施設内のテニス場、ゲートボール場、グランドゴルフ場の運営管理、また、公園施設内全般の清掃・草刈等の維持管理を一括して、治田区と業務委託契約を締結し、日常の維持・運営管理を行った。</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要	
	需用費	184,492円	光熱水費	
	委託料	1,100,000円	高山ダム湖河川公園維持管理業務委託料	
	計	1,284,492円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	0	0	0			
		地方債	0	0	0			
		その他	0	0	0			
		一般財源	1,316	1,372	1,285	2,187		
		合計(A)	1,316	1,372	1,285	2,187		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.18 人	0.18 人	0.15 人		0.12 人
			人件費	1,398	1,393	1,161		925
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.03 人
			人件費	0	0	0		106
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	1,398	1,393	1,161	1,031			
	<b>合計(A+B)</b>	2,714	2,765	2,446	3,218			
	市民1人当たりのコスト(円)	31	32	28	38			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
					目標			
		指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない		実績			
				達成				

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	<p>広大な当公園の維持管理を安価に行うべく、地元自治会に年間を通じての施設の維持・運営管理を委託しているが、これに代わる安価な手法は考えられないため、今後も継続し、治田自治会への業務の発注を継続させる。</p>
		<b>改善案</b>	<p>今後の維持・運営管理の在り方を検討する上で、現在の利用状況に見合った施設区域の見直しなど、維持管理し易い施設に再検討する必要がある。</p>

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)03直轄管理河川改修事業	決算書頁
385 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	R2 年度～ R6 年度	01-08-03-02-03-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	直轄管理河川改修事業	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	大戸川小田排水機場		
	目的	内水排水対策施設である大戸川小田排水機場の改修		
	根拠法令等			
内容	<p>改修工事に向け、令和2年度において基本構想を策定し、令和3年度においては大戸川小田排水機場の改修事業の実施設計を行った。</p> <p>令和4年度より令和6年度までの工事期間(予定)で、当該施設の改修工事を行う。</p> <p>令和4年度以降の工事において、可能な限り実施設計で得た安価な工事内容を引継ぎ、工事実施を行う必要がある。</p> <p>工事監督業務の中で、工事費の変更増額となる工事内容の要因が発生した場合は、他の手法で回避するなど、工事費の増額の軽減に努める。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	4,411,000円	設計業務委託	
	工事請負費	143,960,000円	ポンプ場設備更新工事費	
	計	148,371,000円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0						【特定財源】 緊急自然災害防止対策事業債
	地方債	32,700		164,600		148,300		124,900		
	その他	0		0						
	一般財源	80		13		71		40		
	合計(A)	32,780		164,613		148,371		124,940		
事業費	正規職員	業務量	0.64 人	0.84 人	0.93 人	0.90 人				
		人件費	4,969	6,500	7,196	6,935				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.03 人				
		人件費	0	0	0	106				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人						
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	4,969	6,500	7,196	7,041						
合計(A+B)	37,749	171,113	155,567	131,981						
市民1人当たりのコスト(円)		423	1,950	1,772	1,528					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	大戸川小田排水機場改修事業に係る進捗率	%	目標	6.0	33.1	63.3	100
				実績	6.0	33.1		
指標化できない成果			達成	100%				

方向	継続	課題
		改善案

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-02	
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	矢田川分流堰操作業務経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	矢田川分流堰													
	<b>目的</b>	河川氾濫による浸水被害の軽減													
	<b>根拠法令等</b>														
	<b>内容</b>	<p>一級河川矢田川の河川氾濫による浸水被害を軽減を行うべく、矢田川分流堰の操作並びに点検を行う。</p> <p>一級河川矢田川分流堰の操作・点検業務(豪雨時の河川水位上昇による操作、点検業務各月1回)を行った。</p>													
<b>事業に要した主な経費など</b>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>157,000円</td> <td>消耗品費、光熱水費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>179,000円</td> <td>矢田川分流堰維持管理業務委託料</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td>336,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	157,000円	消耗品費、光熱水費	委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料	計	336,000円			
経費	金額	摘要													
需用費	157,000円	消耗品費、光熱水費													
委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料													
計	336,000円														

	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	336	336	
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	0	0			
	合計(A)	336	336	336	339	
事業費	正規職員	業務量	0.18 人	0.18 人	0.16 人	0.13 人
		人件費	1,398	1,393	1,238	1,002
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.03 人
		人件費	0	0	0	106
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0
	小計(B)	1,398	1,393	1,238	1,108	
	合計(A+B)	1,734	1,729	1,574	1,447	
市民1人当たりのコスト(円)		20	20	18	17	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費の為。		達成				

<b>方向</b>	<b>改善課題</b>	点検管理業務の受託者である大東区より、高齢化により将来当業務の受託は困難な状況となっていることが伝えられている。
	<b>改善案</b>	当維持管理経費は県よりの作業委託金を充当し運営しているが、その受託金額は安価な状況で地元自治会へ依頼するほかに手法はない。 このような状況の費用で運営が困難な状況を県へ伝え、直接の施設管理者が自ら維持管理を行っていただくよう再協議を行う。

<b>基本情報</b>		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1	危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-03	
	基本事業	③	河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費			建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	対象	青山工業団地調整池			
	目的	調整池を保全し、機能を十分に発揮させる。			
	根拠法令等				
	内容	調整池周辺の除草を行いました。			
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要	
		委託料	290,400円	青山工業団地調整池除草業務委託	
		積立金	10,866円	青山工業団地調整池等管理基金積立金	
		計	301,266円		

<b>全体コスト(千円)</b>	直接 事業費	項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 青山工業団地調整池管理基金
		国県支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他		388	354	302	402	
		一般財源		0	0	0		
	合計(A)		388	354	302	402		
	事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.05 人	0.05 人	
			人件費	156	155	387	386	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)		156	155	387	386			
合計(A+B)		544	509	689	788			
市民1人当たりのコスト(円)		7	6	8	10			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標				
				実績				
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない。		達成				

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	施設設置から、30年以上の期間が経過していることから、老朽化による多額の修繕費等が必要となる。調整池の機能維持が保たれるよう、周辺の草刈りを実施していく。
		<b>改善案</b>	優先箇所の修繕及び適切なメンテナンスによる必要経費の軽減 適切な草刈り範囲と回数の設定

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-04	
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	河川維持経費		建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

<b>事務事業の概要</b>	<b>対 象</b>	伊賀支所管内の準用河川		
	<b>目 的</b>	準用河川を維持管理し、環境を保全する。		
	<b>根拠法令等</b>	自治会等への草刈業務委託実施要領		
	<b>内 容</b>	伊賀支所管内の準用河川において、河川環境を守り、自然災害や万が一の事故に備えるため、河川周辺の草刈を地域集落へ委託。 また、草刈の燃料費を支給しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	燃料費	8,500円	準用河川草刈燃料費支給 (支給先:山出区)	
	委託費	82,200円	準用河川井戸川草刈業務委託 (委託先:川東区)	
	計	90,700円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	95	97	91	0		
		合計(A)	95	97	91	0		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.00 人	0.10 人	0.05 人		0.00 人
			人件費	0	774	387		0
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.05 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	177	0	0		0
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	177	774	387	0			
	<b>合計(A+B)</b>	272	871	478	0			
	市民1人当たりのコスト(円)	4	10	6	0			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	維持管理のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	-	-	/	/	

<b>方向</b>	<b>統合</b>	<b>課題</b>	
		<b>改善案</b>	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-05	
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	調整池管理業務経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市管理調整池(30箇所)		
	<b>目的</b>	市管理調整池の維持管理		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	<p>市管理調整池(30箇所)の日常の維持管理を行う。</p> <p>維持業務としては、施設巡視点検・草刈りを実施、また、施設内フェンスの修繕を行った。</p> <p>施設の長寿命化対策に向け、的確な修繕実施計画を検討・策定する時期に差し掛かっており、施設診断業務を予算化し、診断結果に即した修繕計画を策定し、修繕予算の確保に努め、必要な修繕を実施する必要がある。</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要	
	需用費	222,420円	消耗品費、修繕料	
	役務費	307,120円	賠償責任保険料	
	委託料(調整池管理業務委託料)	969,375円	調整池草刈清掃業務委託料 602,800円 草刈処分料 126,775円	
	委託料(大山田支所)	200,000円	調整池巡視点検業務委託料 239,800円 調整池施設維持管理委託料(千戸区) 110,000円 調整池施設維持管理委託料(炊村区) 90,000円	
	委託料(青山支所)	38,400円	調整池施設維持管理委託料(青山)	
	積立金	5,596円	住宅団地等調整池管理基金積立金	
	計	1,742,911円		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【財産収入】 住宅団地等調整池管理基金利子 【繰入金】 住宅団地等調整池管理基金繰入金	
		国県支出金	0	0				
		地方債	0	0				
		その他	1,828	2,197	1,512	744		
		一般財源	245	230	230	1,711		
	合計(A)	2,073	2,427	1,742	2,455			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.11 人	0.21 人	0.12 人		0.12 人
			人件費	855	1,625	929		925
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.30 人	0.00 人	人		人
			人件費	1,060	0	0		0
<b>会計年度任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.30 人	0.10 人	0.10 人		
	人件費	0	486	162	168			
小計(B)	1,915	2,111	1,091	1,093				
合計(A+B)	3,988	4,538	2,833	3,548				
市民1人当たりのコスト(円)	45	52	33	42				

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため、指標化はできない。		達成				

<b>方向</b>	<b>継続</b>	<b>課題</b>	
		<b>改善案</b>	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>
	施策	2-1 危機管理	H26 年度～ R6 年度	01-08-03-03-02-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	準用河川等整備事業		建設部道路河川課

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市が所管する河川		
	<b>目的</b>	降雨時における浸水被害を解消する		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 令和4年度は、河川浚渫工事12件と河川内支障木伐採を1件を実施しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	578,246円	燃料費18地区、修繕料2件	
	委託料	4,228,800円	樹木伐採業務委託3件 481,800円	
			準用河川洪田川測量業務委託 3,450,000円	
			オオサンショウウオ保護調査業務委託 297,000円	
	工事請負費	52,679,000円	宮の谷川浚渫工事 8,734,000円	
			広出川浚渫工事 8,708,700円	
			中出谷川浚渫工事 8,002,500円	
			長野谷川浚渫工事 6,354,700円	
			その他浚渫工事8件 20,620,600円	
			湯蓋川竹木伐採工事 258,500円	
	<b>計</b>	<b>57,486,046円</b>		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	<b>項目</b>	<b>R3年度決算</b>	<b>R4年度当初予算</b>	<b>R4年度決算</b>	<b>R5年度当初予算</b>	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 緊急浚渫推進事業債、緊急自然災害防止対策 事業債
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	38,000	121,900	55,300	189,700	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	3,111	2,139	2,186	3,113	
		<b>合計(A)</b>	<b>41,111</b>	<b>124,039</b>	<b>57,486</b>	<b>192,813</b>	
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	1.17 人	1.36 人	1.36 人	1.62 人
			人件費	9,084	10,523	10,523	12,483
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
		<b>会計年度任 用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
	<b>小計(B)</b>	<b>9,084</b>	<b>10,523</b>	<b>10,523</b>	<b>12,483</b>		
	<b>合計(A+B)</b>	<b>50,195</b>	<b>134,562</b>	<b>68,009</b>	<b>205,296</b>		
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>	<b>563</b>	<b>1,533</b>	<b>775</b>	<b>2,376</b>		

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和6年度</b>	
	浚渫実施率	実施個所数/全数	%	目標	30.5	52.5	74.6	100
				実績	30.5	52.5		
指標化できない成果			達成	100	100			

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	毎年多量に排出される浚渫土砂の処分先の確保に苦慮しています。
		<b>改善案</b>	関係地区に協力を得て、地区内で処分可能な場所を提供してもらう。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H22 年度～ R4 年度	01-08-03-04-02-01	
	<b>基本事業</b>	① 森林環境の整備	<b>担当部署</b>	部・課名等	評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	生産管理用道路整備事業		産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者		
	<b>目的</b>	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。		
	<b>根拠法令等</b>	水源地域対策特別措置法		
	<b>内容</b>	<p>当道路は、川上ダムの周辺整備事業としてダムの湛水により林業施設に支障をきたす半島形状となる山間部に開設しており、事業を推進するため開設工事を行いました。</p> <p>生産管理用道路 全長L=3,063m W=4.0m</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産管理用道路開設工事(Ⅸ期) L=241mを実施</li> <li>・川上ダム関連林道清掃除草業務委託L=1,589mを実施</li> </ul>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	289,104円	消耗品費	289,104円
	委託料	1,718,530円	事務機器保守点検委託料	35,530円
			土砂等撤去業務委託料	1,683,000円
	工事請負費	38,365,800円	川上ダム関連林道清掃除草業務委託 生産管理用道路開設工事(Ⅸ期)	38,365,800円
	積立金	925,027円	川上ダム周辺整備基金積立金	925,027円
	計	41,298,461円		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 川上ダム周辺整備事業基金繰入金	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	14,345	46,413	41,298	932		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	14,345	46,413	41,298	932		
	<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.47 人	0.47 人	0.47 人	0.01 人
			人件費	3,650	3,637	3,637	78	
			<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人
			人件費	0	0	0	0	
			<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人
			人件費	0	0	0	0	
	<b>小計(B)</b>		3,650	3,637	3,637	78		
	<b>合計(A+B)</b>		17,995	50,050	44,935	1,010		
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>		202	571	512	12		

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	整備進捗率	供用開始する林道の延長	m	目標	241	241	0	0
				実績	0	241	/	/
指標化できない成果			達成	0%	100%	/	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	難航していた地図訂正が完了したことを受け、令和5年度には第2期工区再開に向けて地元地域と再協議を行い事業着手を目指す。
	<b>改善案</b>	第2期工区の事業着手に向けての地元調整を行う。	

整理番号
392 -

決算書頁
279

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R3 年度～	R6 年度	01-08-03-04-02-03
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	川上ダム周辺整備事業	担当部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	川上団地内及びその周辺の市が所管する道路施設		
	目的	川上団地内の道路施設の異常または損傷を早期に見出すとともに、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	川上団地内及びその周辺の本市が管理する道路施設を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の損傷箇所について、修繕工事を行います。  令和4年度は、8箇所の道路施設や舗装の修繕を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,669,700円	市道川上中線道路路面小段排水修繕工事 1,057,100円 市道川上中線他1線道路舗装補修工事(第11工区) 621,500円 その他修繕工事6件 991,100円	
	計	2,669,700円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	3,539	2,700	2,670	6,926					
		一般財源	0	0	0	0					
		合計(A)	3,539	2,700	2,670	6,926					
	人件費	正規職員	業務量	0.75 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人				
			人件費	5,823	4,256	4,256	4,238				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
	人件費	0	0	0	0						
	小計(B)	5,823	4,256	4,256	4,238						
	合計(A+B)	9,362	6,956	6,926	11,164						
	市民1人当たりのコスト(円)	105	80	79	130						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。	達成	-	-	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
393 -

決算書頁
281

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R4 年度	01-08-04-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費	担当部署	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域			
	目的	都市計画法等に基づき、都市の健全な発展と秩序ある整備を進める			
	根拠法令等	都市計画法、伊賀市の適正な土地利用に関する条例			
	内容	<p>都市計画法等に基づき、地域ビジョンに沿った土地利用の規制誘導することにより、都市の健全な発展と秩序ある整備を進めました。</p> <p>令和4年度実績 土地利用審議会委員委嘱 5名 土地利用審議会の開催 2回</p> <p>都市計画審議会委員委嘱 13名 都市計画審議会の開催 2回</p> <p>[参考] 土地利用条例承認件数 285件</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	報酬	180,000円	土地利用審議会委員報酬・都市計画審議会委員報酬		
	委託料	927,616円	電算機保守点検委託料等 171,116円 システム移設業務委託料 456,500円 さくらのまち伊賀推進事業委託料 300,000円		
	備品購入費	761,090円	電算機器購入費		
	負担金、補助及び交付金	153,000円	中部地方都市美協議会負担金 20,000円 都市計画協会負担金 123,000円 日本さくらの会賛助会費 10,000円		
	積立金	723,676円	公共施設等整備基金積立金		
	その他事務経費	298,984円	旅費、消耗品費、通信運搬費		
	計	3,044,366円			

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	市有土地建物貸付収入 公共施設等整備基金利子 物品等売払代金 複写料 行政財産目的外使用料
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	1,759	1,099	1,290	1,080	1,080	1,080	1,080	
		一般財源	2,420	2,634	1,754	1,432	1,432	1,432	1,432	
		合計(A)	4,179	3,733	3,044	2,512	2,512	2,512	2,512	
事業費	人件費	正規職員	業務量 5.87 人	3.72 人	3.93 人	5.20 人	5.20 人	5.20 人	5.20 人	
		人件費	45,575	28,782	30,407	40,066	40,066	40,066	40,066	
		再任用職員	業務量 0.00 人	1.00 人	1.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	3,590	3,590	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	0	1,617	1,617	1,679	1,679	1,679	1,679	
	小計(B)	45,575	33,989	35,614	41,745	41,745	41,745	41,745		
	合計(A+B)	49,754	37,722	38,658	44,257	44,257	44,257	44,257		
	市民1人当たりのコスト(円)	558	430	441	513	513	513	513		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	-	-	-	-	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
394 -

決算書頁
281

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)03事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R4 年度	01-08-04-01-03-01
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	土地利用等規制対策経費		建設部都市計画課

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	国土利用計画法に基づく届出等の受付等を進める		
	根拠法令等	国土利用計画法		
	内容	国土利用計画法に基づく届出等の受付等を行いました。 令和4年度実績 受付件数 88件		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費		16,000円	消耗品費
	計		16,000円	

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接 事業費	国県支出金	13	14	16	14	
	地方債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	1	0	0	0	
	合計(A)	14	14	16	14	
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.22 人	0.23 人	0.23 人	0.23 人	
		人件費 1,709	1,780	1,780	1,773	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費 0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費 0	0	0	0	
	小計(B)	1,709	1,780	1,780	1,773	
	合計(A+B)	1,723	1,794	1,796	1,787	
市民1人当たりのコスト(円)		20	21	21	21	

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指標	-	-	目標	-	-	-	-
			実績	-	-	/	/
			達成	-	-	/	/
指標化できない成果	数値で評価できない事業である為		達成	-	-	/	/

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
395 -

決算書頁
281

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)03事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R4 年度	01-08-04-01-03-02
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	上野南部開発及び青山北部住宅団地土地管理経費	担当部署	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	事業対象の地元自治会		
	目的	近鉄ニュータウン及び青山北部住宅団地の土地管理を行う		
	根拠法令等			
	内容	近鉄ニュータウン及び青山北部住宅団地の土地管理について、近畿日本鉄道株式会社との覚書に基づき、地元自治会への管理費用の支払いを行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,295,731円	上野南部都市開発地区土地管理委託料 979,800円 青山北部住宅団地土地管理委託料 315,931円	
	計	1,295,731円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		南部都市開発地区管理費 青山北部住宅団地用地管理費
	地方債	0		0		0		0		
	その他	1,296		1,296		1,296		1,296		
	一般財源	0		0		0		0		
	合計(A)	1,296		1,296		1,296		1,296		
事業費	正規職員	業務量	0.03 人	0.03 人	0.03 人	0.03 人	0.03 人	0.03 人		
		人件費	233	233	233	232				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	233	233	233	232						
合計(A+B)	1,529	1,529	1,529	1,528						
市民1人当たりのコスト(円)		18	18	18	18					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	-	-	-	目標	-	-	-	-
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為		達成	-	-		

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)06建築関係事務経費	決算書頁
396 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R4 年度	01-08-04-01-06-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	建築関係事務経費	担当部署 建設部建築課	課長 榮井 隆 0595-22-9735

事務事業の概要	対象	建築物		
	目的	法令に基づく事務処理		
	根拠法令等	建築基準法(第6条、第7条、第7条の3、第12条第5項等)、長期優良住宅法(第5条)、建築物省エネ法(第19条)、建設リサイクル法(第10条他)		
	内容	建築基準法等に基づく特定行政庁事務処理を行いました。 【各種申請等受理件数】 ・建築確認申請(工作物を含む。)(計画通知を含む。) 13件 ・完了検査申請(工作物を含む。)(計画通知を含む。) 13件 ・中間検査申請 5件 ・建築基準法第12条第5項報告 9件 ・長期優良住宅認定申請 31件 ・低炭素認定申請 1件 ・建築物省エネ法届出 1件 ・建設リサイクル法届出(通知書を含む。) 72件 ・建築確認事前調査報告書 256件 【その他】 ・違反建築啓発 3件		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	14,580円		
	需要費	487,404円	消耗品費	
	役務費	257,500円	賠償責任保険料	
	委託料	1,993,200円	指定道路台帳更新業務委託料 1,542,200円	
			システム保守委託料 451,000円	
	使用料及び賃借料	317,780円	システム等使用料等	
	備品購入費	94,710円	機械器具購入	
	負担金、補助金及び交付金	99,500円	研修会等参加負担金 40,500円	
			日本建築行政会議負担金 50,000円	
			全国建築審査会協議会負担金 9,000円	
	計	3,264,674円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	31	31	53	31		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	640	1,276	898	1,229		
		一般財源	2,276	2,259	2,314	4,987		
	合計(A)	2,947	3,566	3,265	6,247			
	事業費	正規職員	業務量	3.20 人	9.00 人	8.13 人		9.00 人
			人件費	24,845	69,633	62,902		69,345
		再任用職員	業務量	人	人	人		人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	人	人	人	人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	24,845	69,633	62,902	69,345				
合計(A+B)	27,792	73,199	66,167	75,592				
市民1人当たりのコスト(円)	312	834	754	875				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	建築確認等審査期間	建築確認等の平均審査日数(確認、許可、認定あるいは不備通知までの処理日数)(年度毎)	日	目標	7	7	7
				実績	7.85		
指標化できない成果			達成	89.17%			

方向	改善	課題	○設計者等が各種申請時等に何度も遠方から来てもらわなければならない場合があり、経費や時間に負担が掛かっている。また、それにより確認や認定が遅れる可能性がある。 ○建築確認等の審査をより迅速に適切に行う必要がある。
	改善案	○メール、ファックス及び郵送を使用しての届出及び相談業務等を行いサービス向上に努めたい。特に、令和5年度は年間200件以上ある建築確認事前調査報告書について、現在は紙で報告をもらっているが前述の方法で行うことを検討する。 ○各申請の受付を行った時点で何等かの審査作業に取り掛かる。	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)07都市計画調査策 定等事業	決算書頁
397 -		283

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	R元 年度～	R4 年度	01-08-04-01-07-01
	基本事業	① コンパクトシティ・プラス・ネットワーク	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	都市計画調査策定等事業	担当 部署	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市の都市計画に関わる計画等の策定を行う		
	根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法		
	内容	伊賀市都市マスタープラン(令和3年12月)の策定に伴い、伊賀市の適正な土地利用に関する条例の改正等を行いました。  令和4年度実績 土地利用審議会委員委嘱 5名 土地利用審議会の開催 開催回数 6回(R4.5.24、R4.6.24、R4.7.29、R4.8.31、R4.11.30、R5.1.31)  [参照] 土地利用条例承認件数 285件		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	報酬	174,000円	土地利用審議会委員報酬	
	旅費	129,627円		
	需用費	197,729円	消耗品費	
	役務費	20,420円	通信運搬費	
	委託料	8,855,000円	伊賀市の適正な土地利用に関する条例見直し支援業務委託等 委託先:(株)パスコ三重支店	
	計	9,376,776円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接 事業費	国県支出金	0	5,500	4,879	0	集約都市形成支援事業費補助金				
	地方債	0	0	0	0					
	その他	0	0	0	0					
	一般財源	2,910	5,507	4,498	697					
	合計(A)	2,910	11,007	9,377	697					
事業費 人件費	正規職員	業務量 1.30 人	2.80 人	2.66 人	0.86 人					
	人件費	10,094	21,664	20,581	6,627					
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
	人件費	0	0	0	0					
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
	人件費	0	0	0	0					
小計(B)	10,094	21,664	20,581	6,627						
合計(A+B)	13,004	32,671	29,958	7,324						
市民1人当たりのコスト(円)		146	373	342	85					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	計画等の策定に関わる予算 に対する執行額の割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	伊賀市都市マスタープラン(令和3年12月策定)の内容や令和4年度に改正等を行った伊賀市の適正な土地利用に関する条例及び伊賀市立地適正化計画の内容について、様々な手法を用いて周知を行いながら、コンパクトシティ実現に向けた理解を深めることが課題です。
	改善案	一部見直しを行った土地利用条例並びに立地適正化計画について、住民自治協議会や宅建業者等に対して周知を行います。また、昨年度検討した伊賀市都市マスタープランの広報戦略を実施段階に移行させて、コンパクトシティ実現に向けた理解を深めます。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	施策	3-5 商工業・産業立地	H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-10-01	
	基本事業	② 企業立地	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	産業集積開発事業推進経費		建設部企業用地整備課	課長 石黒 義章 0595-22-9727

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市民(新たな雇用の創出)		
	<b>目的</b>	新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、就業機会の拡大、若者の定住の推進を図る。		
	<b>根拠法令等</b>	第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画、伊賀市都市マスタープラン		
	<b>内容</b>	<p>新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、民間開発事業者を誘致し、民間主導による新たな産業用地の創出を推進する。</p> <p>①企業誘致PR活動 PR冊子(いざない)作成、WEBセミナー動画作成、WEBセミナー開催、データセンター誘致可能性調査、インターネット広告(バナー広告)</p> <p>②企業アンケートの実施 送付数 3,591社、回答数 121社、送付業種 製造業、物流・IT関連等</p> <p>③企業訪問 アンケート及びWEBセミナー等で伊賀市への立地に興味を持ってもらった企業を訪問。訪問数17社</p> <p>④大規模地権者との各種調整</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	旅費	855,790円	企業訪問(東京、大阪等)	
	消耗品費	480,617円	事務用品、お茶代	
	印刷製本費	375,056円	PR冊子作成、アンケート封筒印刷代	
	広告料	725,600円	電子版インターネット公告「バナー広告」2回 (建通新聞社、日経ビービー)	
	産業集積開発事業支援業務委託料	9,361,000円	データセンター誘致可能性調査業務委託	3,520,000円
			企業誘致WEBセミナー運営支援業務委託	5,445,000円
			企業誘致WEBセミナー配信等業務委託	396,000円
	使用料及び賃借料	14,200円	有料道路通行料、駐車場借上料	
	負担金	10,000円	研修会等参加負担金	
	<b>計</b>	<b>11,822,263円</b>		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	<b>R3年度決算</b>	<b>R4年度当初予算</b>	<b>R4年度決算</b>	<b>R5年度当初予算</b>	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	3,300	5,043	4,779		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	4,258	5,680	6,780	6,460		
	合計(A)	4,258	8,980	11,823	11,239			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	2.00 人	3.00 人	3.00 人		3.00 人
			人件費	15,528	23,211	23,211		23,115
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
人件費	0		0	0	0			
<b>小計(B)</b>		15,528	23,211	23,211	23,115			
<b>合計(A+B)</b>		19,786	32,191	35,034	34,354			
<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>			222	367	400	398		

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>	<b>令和3年度</b>	<b>令和4年度</b>	<b>令和5年度</b>	<b>令和6年度</b>
				目標	-	-	-
				実績	-	-	-
	指標化できない成果	事業内容が事業化に向けた調整が主な為	達成	-	-	-	-

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	開発事業者を誘致する際の最大の課題が立地企業の確保(売れ残りのリスクの軽減)が必要である。
	<b>改善案</b>		最終進出企業の掘起しを行い、当市への進出希望企業が十分あることを示すことが開発事業者の誘致に繋がると考える。企業誘致については、更なる市の魅力を伝えるべく様々な手法の検討。さらには企業のニーズを把握することも重要である。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-12-01	
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	個人住宅耐震診断支援事業		建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市内にある旧耐震基準(昭和56年5月31日以前に着工)で建設された階数が3以下の木造住宅		
	<b>目的</b>	木造住宅の地震に対する安全性の確認及び耐震補強の啓発を行うことにより地震に強いまちづくりを進める		
	<b>根拠法令等</b>	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画		
	<b>内容</b>	住宅の耐震に関する啓発活動として、本庁市民スペースでのパネル展示等を行っています。 耐震診断の普及啓発事業としては、広報やホームページ等により耐震診断の対象者を募集するとともに、市街化区域内において緊急耐震重点区域を設定し、三重県とボランティアの普及啓発員と共に戸別訪問を行いました。(訪問件数147戸) 耐震診断の実績としては、令和4年度は33戸の木造住宅について耐震診断を行い、住宅所有者等に対して耐震性の有無と耐震補強工事に関する費用等の情報提供を行いました。		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	委託料	1,557,600円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 (委託先: 三重県木造住宅耐震促進協議会)	
	計	1,557,600円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	707	1,770	1,167	
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	237	590	390	590
		合計(A)	944	2,360	1,557	2,360
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.10 人	0.10 人	0.07 人	0.08 人
		人件費	777	774	542	617
	<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
<b>小計(B)</b>		777	774	542	617	
<b>合計(A+B)</b>		1,721	3,134	2,099	2,977	
<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>		20	36	24	35	

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
耐震診断実施率	耐震診断件数/耐震診断目標件数	%	目標	100	100	100
			実績	66.7	110	
指標化できない成果		達成	66.7%	110%		

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<p>昨年度より戸別訪問件数を増やし、訪問先からの申請件数が増加したため、診断件数が増加しました。今後も啓発活動を行い、耐震に関する住民意識のさらなる向上を図ります。</p>
	<b>課題</b>	
	<b>改善案</b>	<p>I、II 三重県木造住宅耐震促進協議会の協力のもと、年2回の戸別訪問や市発信の広報活動(パネル展示、広報、ホームページ等)を継続実施することにより、耐震化に向けての普及啓発を行い、耐震診断申請数の改善を図ります。また、令和5年度より木造住宅除却補助金を新設し、耐震のない木造住宅の除却を進めることで市内の木造住宅の耐震化を促進します。</p>

整理番号 400 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)14住宅・建築物耐震改修等事業	決算書頁 283
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-14-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	住宅・建築物耐震改修等事業	建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	耐震診断の結果、巨大地震発生時に倒壊する可能性が高いと診断された木造住宅等		
	目的	住宅の耐震化を行うことで地震による被害や避難路の通行障害を防ぎ、地震に強いまちづくりを目指す		
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画		
	内容	<p>木造住宅耐震補強設計事業及び木造住宅耐震補強事業では、耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定された旧耐震基準の木造住宅について、耐震を向上させるための工事設計費について補助を行いました。 災害時要援護者宅家具固定事業では、三重県建設労働組合上野支部に協力いただき、市内の高齢者、障がい者宅で1戸あたり最大3台までの家具を金具で固定し、安心安全な居室の確保に寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木造住宅耐震補強設計事業 1件</li> <li>・木造住宅耐震補強事業 0件</li> <li>・リフォーム事業 0件</li> <li>・災害時要援護者宅家具固定事業 7件</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金補助及び交付金	180,000円	耐震補強設計事業費補助金	
	その他経費	46,645円	消耗品	
	計	226,645円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	2,900		4,560		90		4,972		社会資本整備総合交付金 三重県木造住宅耐震補強等事業費補助金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	1,853		2,426		137		2,350		
	合計(A)	4,753		6,986		227		7,322		
事業費	正規職員	業務量	0.12 人	0.12 人	0.03 人	0.06 人				
		人件費	932	929	233	463				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)		932	929	233	463					
合計(A+B)		5,685	7,915	460	7,785					
市民1人当たりのコスト(円)		64		91		6		91		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	耐震補強実施率	耐震補強実施件数/耐震診断で評点0.7未満の住宅	%	目標	6.8	6.8	6.8	6.8
				実績	6.8	6.6		
指標化できない成果			達成	100%	97.1%			

方向	改善	課題	耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定されても耐震工事費が高額で工事できないという意見が多くみられます。
	改善案	I II	耐震改修工事をより安価に行うことができる工法等について情報収集し、情報提供を行っていきます。 耐震診断の対象者に対し、補強設計や補強工事の補助制度の案内を行っていきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H30 年度～ R6 年度	01-08-04-01-15-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	ブロック塀等撤去費補助事業	建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	道路に面するブロック塀等で高さが1メートルを超え、地震により倒壊又は転倒の危険があるもの		
	目的	危険なブロック塀等を撤去することで地震等の災害から市民の生命・身体を守り、避難路等を確保する		
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法理、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画		
	内容	ブロック塀等撤去費補助金交付要綱に基づき、撤去費用の補助金を交付しました。 市広報やホームページなどにより周知を行い、令和4年度は5件274,000円の補助を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	274,000円	ブロック塀等撤去費補助金	
	計	274,000円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	312	750	137	750	社会資本整備総合交付金
	地方債	0	0	0	0	
	その他	313	750	137	0	
	一般財源	0	0	0	750	
	合計(A)	625	1,500	274	1,500	
人件費	正規職員	業務量 0.10 人	0.10 人	0.05 人	0.06 人	
		人件費 777	774	387	463	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費 0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.10 人	0.00 人	
		人件費 320	324	162	0	
小計(B)	1,097	1,098	549	463		
合計(A+B)	1,722	2,598	823	1,963		
市民1人当たりのコスト(円)		20	30	10	23	

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
実施率	撤去件数/申請件数	%	目標	100	100	100
			実績	91.7	100	
指標化できない成果		達成	91.7%	100%		

方向	改善課題	平成30年から3年間の国の緊急対策として始まった制度ですが、他の耐震改修事業と同制度で継続になっています。ブロック塀等の所有者からの申請による補助事業のため、所有者の意識の向上を図る必要があります。
	改善案	避難路や通学路が国の補助対象となることから、今後も国費の確保及び制度の周知を図っていきます。

整理番号 402 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)16空家等対策推進事業	決算書頁 283
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-16-01
	基本事業	③ 空き家対策	担当部署	部・課名等
	事務事業名	空家等対策推進事業	住宅課空き家対策室	評価責任者・連絡先 室長 森口 浩司 0595-22-9676

事務事業の概要	対象	空き家所有者及び相続人等関係者、地域住民、観光客、起業・創業者		
	目的	空家等対策計画に基づき計画を推進する		
	根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、第2次伊賀市空き家対策計画(計画期間令和3～7年)		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結団体数 12団体</li> <li>・空家等約2,100戸(うち特定空家等判定約150戸)</li> <li>・空き家対策協議会(2回開催)</li> <li>・略式代執行の執行(上野寺町)</li> <li>・空き家バンク事業 物件登録数 延べ443件、利用登録者数 延べ1,570世帯、成約世帯 183世帯</li> <li>・空き家バンクホームページの充実(バーチャル内覧、YouTubeによる物件紹介、ブログによる地域情報発信)</li> <li>・ワンストップ空き家相談会(2回開催延べ62組)</li> <li>・特定空家除却費補助金の交付等</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	空き家等対策協議会委員報酬	138,000円	8/2・2/3開催分(6,000円×23人)	
	謝礼	160,000円	7/30・2/3開催ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×16人)	
	委託料	2,092,742円	基礎調査業務委託料ほか	
	建物除却工事費	5,097,400円	施行場所:伊賀市上野寺町	
	伊賀市空家再生等推進事業補助金	4,486,000円	除却8件、空家再生1件、家財処分6件	
	その他	930,626円	裁判所予納金 ほか	
	計	12,904,768円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	6,910		26,821		5,181		8,174		空家等対策総合支援事業補助金
	地方債									
	その他	1,209		4,555		1,264		2,319		
	一般財源	7,935		7,264		6,460		8,365		
	合計(A)	16,054		38,640		12,905		18,858		
事業費	正規職員	業務量	2.80 人	3.80 人	3.80 人	3.80 人				
		人件費	21,740	29,401	29,401	29,279				
	再任用職員	業務量	1.00 人							
		人件費	3,531	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人				
		人件費	4,788	4,851	4,851	5,037				
小計(B)		30,059	34,252	34,252	34,316					
合計(A+B)		46,113	72,892	47,157	53,174					
市民1人当たりのコスト(円)		517	831	538	616					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	空き家バンクの成約数	空き家を活用した数	件	目標	30	30	40	40
				実績	31	39		
指標化できない成果			達成	103%	130%			

方向	充実	課題	<p>空き家の利活用を促進する取組みとして、空き家バンク事業を充実させ、これまで180世帯を超える成約を得た。更なる物件登録数を増加させ、競合自治体に負けない取組みを継続させる必要がある。</p> <p>また、中心市街地エリアの空き家となった歴史的建築物をホテルの客室等として再生活用を行う「分散型ホテル」開発に官民連携し取り組みを進めてきた。古民家再生活用指針に沿い客室数の継続的な増加を進める必要がある。</p>
	改善案	<p>空き家バンク事業については、ホームページをはじめとした情報発信の強化や、各種手続きのオンライン化を検討する等、空き家バンク制度を充実させ、選ばれる伊賀市を目指す。</p> <p>城下町ホテル事業については協定事業者と連携し、2期開発を計画どおり進める。</p>	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大-事業-中-事業</b>	
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R4 年度	01-08-04-02-01-01	
	基本事業	② 良好な景観形成	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	市街地整備推進事業費		建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

<b>事務事業の概要</b>	<b>対 象</b>	城下町重点風景区域内等における建築行為等		
	<b>目 的</b>	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる		
	<b>根拠法令等</b>	景観法		
	<b>内 容</b>	建築行為に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	報酬	54,000円	景観審議会委員報酬	
	報償費	13,988円	景観アドバイザー謝礼	
	旅費	8,355円		
	需用費	6,788円	消耗品費	
	使用料及び賃借料	1,500円	会場借上料等	
	<b>計</b>	<b>84,631円</b>		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	169	224	85	211	
		合計(A)	169	224	85	211	
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.72 人	0.91 人	0.23 人	0.35 人	
		人件費	5,591	7,041	1,780	2,697	
	<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	<b>小計(B)</b>		5,591	7,041	1,780	2,697	
<b>合計(A+B)</b>		5,760	7,265	1,865	2,908		
<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>		65	83	22	34		

<b>指 標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	適合率		届出行為の景観形成基準への適合率	%	目標	90	90	90
					実績	87	80	/
指標化できない成果			達成	97%	89%	/	/	

<b>方 向</b>	<b>改善</b>	<p>課題</p> <p>城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であり、市民啓発等の実施方法について検討が必要です。          今後は、活動を再開した「うえのまち風景づくり協議会」での意見等を景観計画に反映させる事が目標です。</p>
	<b>改善案</b>	<p>「うえのまち風景づくり協議会」をはじめ、各種審議会等で景観計画の見直しについて議論を深めます。</p>

整理番号 403 - 2	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
-----------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市街地整備推進事業費	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	まちなみぐりの拠点・交流施設の利用を促進し、にぎわいの拠点づくりを行う。		
	根拠法令等			
	内容	<p>○まちなみぐりの拠点・交流施設として整備した国登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」について、指定管理者制度による管理を行った。 令和4年度《施設利用状況》施設利用者3,469人/年、施設見学を含む総入館者16,680人/年</p> <p>○経年劣化により破損し景観を損ねている犬矢来の修繕をおこなった</p> <p>○旧玉岡邸について、草刈、溝掃除、敷地内清掃等を実施し、売却に向けた入札手続きを進めた。売却には至っていないが引き続き随時募集を行っている。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	6,675,450円	赤井家住宅指定管理料/伊賀市文化都市協会	
		64,900円	旧玉岡邸草刈等業務/NPO法人絆	
	工事請負費	1,188,000円	赤井家住宅犬矢来修繕/乾建設	
	計	7,928,350円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	757	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,880	8,381	7,929	7,183					
	合計(A)	6,637	8,381	7,929	7,183					
事業費	正規職員	業務量	0.62 人	0.62 人	1.00 人	1.00 人				
		人件費	4,814	4,797	7,737	7,705				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	4,814	4,797	7,737	7,705						
合計(A+B)	11,451	13,178	15,666	14,888						
市民1人当たりのコスト(円)		129	151	179	173					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	赤井家住宅利用者数	施設の見学者、貸室利用者を含む利用者の総数	年/人	目標	10,400	10,600	10,800	11,000
				実績	10,533	16,680		
指標化できない成果			達成	101%	157%			

方向	改善	課題	赤井家住宅の利用者数は、新型コロナウイルスの流行後利用者数が大幅に減少した。令和4年度は回復傾向にありコロナ以前の水準に戻りつつある。 旧玉岡邸は、草刈等日常管理での維持を行いながら売却について検討したが未だ売却先が決まっていない。
	改善案		<p>I 赤井家住宅は施設の利用状況や、イベントの実施計画等の情報を指定管理者である伊賀市文化都市協会と共有し、積極的な発信を行う。コロナ以前の利用者数回復に向け、感染症対策を講じ、安心して利用してもらえる施設であることをPRする。</p> <p>旧玉岡邸については、草刈等日常管理をおこない荒廃を予防しながら売却に向け市ホームページ等の情報発信を行う。</p> <p>II 指定管理者制度の利点を活用し、単年度の事業計画のみならず、指定管理期間中の計画的な運営を行う。</p>

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R4 年度	01-08-04-02-01-02	
	基本事業	② 良好な景観形成	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	街なみ環境整備事業		建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主		
	<b>目的</b>	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる		
	<b>根拠法令等</b>	景観法		
	<b>内容</b>	<p>景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しました。</p> <p>ふるさと風景づくり助成金 交付件数2件、建築相談件数4件</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要	
	報償費	6,000円	景観アドバイザー謝礼	
	需用費	24,368円	消耗品費	
	負担金、補助及び交付金	2,205,000円	ふるさと風景づくり助成金	
	計	2,235,368円		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		ふるさと応援基金繰入金
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	2,500	2,205	2,500		
		一般財源	19	75	30	75		
	合計(A)	19	2,575	2,235	2,575			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	1.13 人	1.10 人	1.20 人	1.15 人	
			人件費	8,774	8,511	9,285	8,861	
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
小計(B)	8,774	8,511	9,285	8,861				
合計(A+B)	8,793	11,086	11,520	11,436				
市民1人当たりのコスト(円)	99	127	132	133				

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	-	-	-	-	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<p>現在指定されている重点風景地区については、計画策定時と比べそぐわない部分があり、その区域については精査が必要です。</p> <p>また、家屋の新・改築等において景観形成基準を適合させるためには、少なからず私権を制限する事となり、それに伴い施工が私費の負担を強いられるため、適合基準について理解が得られない現状があることから、地域の景観に関する意識の熟成が課題です。</p>
	<b>改善案</b>	<p>伊賀上野城の城下町にある歴史情緒あふれる建物やまちなみを継承されるべき財産として理解を深めてもらうため、「景観審議会」や「うえのまち風景づくり協議会」で議論を重ね、伊賀市景観計画の見直し検討を行っていきます。</p> <p>また、伊賀市ふるさと風景づくり助成金制度や、景観まちづくりに係る取組について地域住民等へ情報発信を行っていきます。</p>

整理番号 405 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-03
	基本事業	② 中心市街地の商業の活性化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中心市街地活性化事業	産業振興部中心市街地推進課	課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、商業者、起業希望者、関係団体、来街者、観光客																						
	目的	関係団体等と協働で空き店舗の解消に取り組み、地域経済の再生による中心市街地の活性化、にぎわいの創出を推進する。																						
	根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律																						
	内容	<p>○令和2年3月に策定した第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に位置付けた『空き店舗情報システム整備及びコンサルタント事業』に基づき、令和3年度から継続し、中心市街地活性化協議会(事務局:株式会社まちづくり伊賀上野)と協働して中心市街地の空き店舗物件の実態調査、所有者への活用意向調査、個別ヒアリング等を実施した。令和4年度は8件の空き店舗の物件情報を協議会ホームページにて公開した。</p> <p>○伊賀市中心市街地活性化協議会(法定協)、伊賀市中心市街地活性化推進会議(庁内)において、各事業の進捗管理を行った。</p> <p>《目標指標達成状況》人口の社会増減52.4%、空き店舗等活用件数122.2%、観光交流施設の利用者数49.2%、歩行者・自転車通行量98.4%、イベント参加者数22.0%</p> <p>○1事業を中心市街地活性化基本計画に新規追加した。(伊賀市合併処理浄化槽設置整備事業)</p> <p>○目標指標(歩行者・自転車通行量)把握のため、通行量調査業務を実施した。(夏季:7/23、春季:3/11)</p> <p>○令和7年度開始を目的に第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画を策定予定であるが、次期計画の策定期間中も市街地活性化への取り組みに空白期間が生じないように、令和4年度末で期限を迎える現行計画を2年間延長した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止が続いていた「ライトアップイベントお城のまわり」を、3年ぶりに実施した。</p>																						
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通行量調査業務</td> <td>296,208円</td> <td>委託先:シルバー人材センター、年2回</td> </tr> <tr> <td>ライトアップイベント委託料</td> <td>2,225,485円</td> <td>委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会</td> </tr> <tr> <td>中心市街地活性化協議会運営活動費補助金</td> <td>1,274,871円</td> <td>支出先:中心市街地活性化協議会</td> </tr> <tr> <td>まちづくり協議会活動助成金</td> <td>120,000円</td> <td>支出先:うえのまちまちづくり協議会</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>519,840円</td> <td>事務用品</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,436,404円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	通行量調査業務	296,208円	委託先:シルバー人材センター、年2回	ライトアップイベント委託料	2,225,485円	委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会	中心市街地活性化協議会運営活動費補助金	1,274,871円	支出先:中心市街地活性化協議会	まちづくり協議会活動助成金	120,000円	支出先:うえのまちまちづくり協議会	消耗品費	519,840円	事務用品	計	4,436,404円			
経費	金額	摘要																						
通行量調査業務	296,208円	委託先:シルバー人材センター、年2回																						
ライトアップイベント委託料	2,225,485円	委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会																						
中心市街地活性化協議会運営活動費補助金	1,274,871円	支出先:中心市街地活性化協議会																						
まちづくり協議会活動助成金	120,000円	支出先:うえのまちまちづくり協議会																						
消耗品費	519,840円	事務用品																						
計	4,436,404円																							

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	3,000	3,000	3,000	
		一般財源	2,084	3,035	1,437	3,546	
	合計(A)	2,084	6,035	4,437	6,546		
	事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.50 人	1.45 人
			人件費	7,764	7,737	11,606	11,173
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)	7,764	7,737	11,606	11,173			
合計(A+B)	9,848	13,772	16,043	17,719			
市民1人当たりのコスト(円)		111	157	183	206		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	空き店舗等活用件数	市街地における空き店舗が活用された件数	件	目標	5	5	5
				実績	6	10	
指標化できない成果		達成	100%超	100%超			

方向	充実	課題	計画目標指標のうち、空き店舗活用件数以外の指標については目標値を達成することができなかった。来街者数は新型コロナウイルス感染症の収束とともに一定の回復が見込まれるものの、人口社会増減数については、市街地への居住誘導を図る更なる取り組みを行うなど、対策を講じる必要がある。また、空き店舗活用件数は目標値を達成することができたものの、中心市街地には依然として多くの空き店舗が散見されることから、前年度同様、積極的な活用に繋がる取り組みを継続していく必要がある。
		改善案	特に対策が必要な課題においては、庁内の担当部署で構成する作業部会や、中心市街地活性化協議会内でのプロジェクトチームなどを立ち上げ、新規事業の立案や民間活力の導入など、重点的な取り組みを行っていく。

整理番号 406 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	R4 年度～ R23 年度	01-08-04-02-01-05
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	旧上野市庁舎利活用事業	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客																	
	目的	にぎわい忍者回廊創出PFI事業の特定事業として旧上野市庁舎を改修活用する																	
	根拠法令等																		
	内容	<p>伊賀市の中心市街地では、「中心市街地の活性化に関する法律」や「まち・ひと・しごと創生法」の目的及び基本理念に基づき、コンパクトでにぎわいのあるまちづくり、次世代に誇れるまちづくりの実現を目指し、「第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画」を策定し、まちなか居住の推進や観光・商業の活性化に向けた公民連携の取組を進めている。</p> <p>また、伊賀市の中心市街地は、東京の「上野恩賜公園と文化施設群」や京都の「南禅寺界隈の近代庭園群」などと同様に「伊賀上野城下町の文化的景観」が『日本の20世紀遺産20選』に選ばれている。</p> <p>この景観を構成する、坂倉準三による近代建築群や、伊賀上野城下町の歴史的なまちなみの保全、アフターコロナ時代における観光まちづくりの視点を加えつつ、地域に根付く魅力溢れる資源を面として捉え、人と地域が成長し続ける空間を創出するため、上野公園から城下町エリアを結ぶ動線を「にぎわい忍者回廊」と位置付け、公民が一体となって取組を推進する。</p> <p>にぎわい忍者回廊整備事業は、公民が一体で取り組むPFI(Private Finance Initiative)手法で進め、旧上野市庁舎を改修して図書館を核とする複合施設への利活用、五感をフルに使って楽しむ忍者体験施設の新設などを含め、民間ノウハウを活用した質の高いサービスの提供を目指します。</p> <p>令和4年度は、事業者選定-契約-市民への事業の周知などに取り組みました。また、都市構造再編集中支援事業の採択に向け費用便益分析を行いました。</p>																	
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>31,530円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>281,050円</td> <td>市民向け事業説明チラシ作成/藤田印刷</td> </tr> <tr> <td>費用便益分析業務委託料</td> <td>4,620,000円</td> <td>都市構造再編集中支援事業に係る費用便益分析業務委託/株式会社バスコ</td> </tr> <tr> <td>行政情報番組制作等委託料</td> <td>64,900円</td> <td>市民向け事業説明動画作成/伊賀上野ケーブルテレビ</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,997,480円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	31,530円		印刷製本費	281,050円	市民向け事業説明チラシ作成/藤田印刷	費用便益分析業務委託料	4,620,000円	都市構造再編集中支援事業に係る費用便益分析業務委託/株式会社バスコ	行政情報番組制作等委託料	64,900円	市民向け事業説明動画作成/伊賀上野ケーブルテレビ	計	4,997,480円	
経費	金額	摘要																	
旅費	31,530円																		
印刷製本費	281,050円	市民向け事業説明チラシ作成/藤田印刷																	
費用便益分析業務委託料	4,620,000円	都市構造再編集中支援事業に係る費用便益分析業務委託/株式会社バスコ																	
行政情報番組制作等委託料	64,900円	市民向け事業説明動画作成/伊賀上野ケーブルテレビ																	
計	4,997,480円																		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0	52,279
		地方債		0	0	47,000
		その他		0	0	0
		一般財源		6,734	4,998	10,762
		合計(A)	0	6,734	4,998	110,041
事業費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
		人件費	0	7,737	7,737	7,705
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
小計(B)	0	7,737	7,737	7,705		
合計(A+B)	0	14,471	12,735	117,746		
市民1人当たりのコスト(円)		0	165	146	1,363	

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
庁舎改修事業の進捗率	都市構造再編集中支援事業補助金を活用し庁舎改修をおこなうことから事業計画に基づく進捗を指標とする。	%	目標	-	0.2%	5%	77%
			実績	-	0.2%		
指標化できない成果		達成	-	100%			

方向	民間委託	課題	建築から年数が経過した建物であるため、当初想定していない改修が発生する可能性がある。
		改善案	事業者との連絡を密にし、安心安全を優先とした改修をおこなう。

整理番号 407 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	R4 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-06
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中心市街地公共公益施設管理経費	担当部署 産業振興部中心市街地推進課	課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	街巡りの拠点となる市指定有形文化財とポケットパークの維持管理を行う。		
	根拠法令等			
	内容	街なみ環境整備事業で整備した、街巡り拠点である市指定有形文化財「成瀬平馬家長屋門」と上野東町ポケットパーク「さまざま広場」の維持管理を行った。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	浄化槽保安点検業務委託	196,900円	委託先:(有)上野清掃 さまざま広場	
	清掃業務委託	1,821,600円	委託先:(有)いわの美装等 さまざま広場	
	警備業務委託	306,240円	委託先:三重総合警備保障(株)さまざま広場、成瀬平馬家	
	樹木剪定伐採等業務委託	97,900円	委託先:瑞祥園 さまざま広場	
	その他経費	570,026円	消耗品費、光熱水費等	
	計	2,992,666円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		土地建物貸付収入
	地方債	0		0		0		0		
	その他	0		3		29		3		
	一般財源	2,661		3,300		2,964		3,491		
	合計(A)	2,661		3,303		2,993		3,494		
事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.50 人				
		人件費	1,553	1,548	1,548	3,853				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	1,553	1,548	1,548	3,853						
合計(A+B)	4,214	4,851	4,541	7,347						
市民1人当たりのコスト(円)		48	56	52	86					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	成瀬平馬門の利用件数	街巡り等の活動拠点として敷地を含む利用件数	回	目標	2	5	5	0
				実績	2	3		
指標化できない成果			達成	100%	60%			

方向	改善課題	さまざま広場は、東町交差点という歩行者が多い交差点に立地している。連休中やイベント時には、多くの市民や観光客が利用するため、清掃が追い付かないことがあり苦情につながりかねない。
	改善案	さまざま広場の清掃が追い付かないことに関しては、連休中やイベント時には1日2回の清掃を、特別清掃に切り替えることで対応する。

整理番号
408 -

決算書頁
287

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)01事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-03-01-01
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	事務管理経費		上下水道部経営企画課

事務事業の概要	対 象	伊賀市の下水道事業		
	目 的	下水道事業の適正な維持管理		
	根拠法令等			
	内 容	下排水路等の適正な維持管理に係る事務のため、消耗品費や委託料等を支出しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	32,118円	事務用消耗品	
	役員費	36,736円	郵便料、下水道賠償責任保険料	
	委託料	25,600円	下水道台帳システム保守業務(委託先:朝日航洋(株))	
	計	94,454円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	その他特定財源:複写料 8,300円
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	9	10	8	10	8	10	10	
		一般財源	611	102	86	102	86	102	102	
		合計(A)	620	112	94	112	94	112	112	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人	
		人件費	156	155	155	155	155	155	155	
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量 0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
		人件費	16	17	17	17	17	17	17	
	小計(B)	172	172	172	172	172	172	172		
	合計(A+B)	792	284	266	284	266	284	284		
	市民1人当たりのコスト(円)	9	4	4	4	4	4	4		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	-	-	-	目標	-	-	-	-
	指標化できない成果	一般的な事務経費であるため	達成	-	-	-	-	

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-6	上下水道	H16 年度～ R3 年度	01-08-04-03-02-01	
	基本事業	②	下水道	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	下水路等維持管理経費			上下水道部経営企画課	課長 中 映人 0595-24-0001

<b>事務事業の概要</b>	対 象	上野管内他の既設下水路			
	目 的	清掃・補修等、適正な維持管理の実施			
	根拠法令等				
	内 容	上野管内他の下水路の機能維持のために清掃及び補修等を実施しました。 事業実績 下水路修繕 N=1式 排水樋門操作点検業務 N=1式 下水路改修工事 N=1式 マンホール蓋購入 N=18枚			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	2,726,505円	下水路修繕 等		
	役務費	17,190円	電話代		
	委託料	2,599,762円	施設維持管理業務 等		
	工事請負費	854,568円	下水路改修工事		
	公有財産購入費	881,815円	マンホール蓋		
	補償、補填及び賠償金	250,000円	服部川沿岸用水南幹線水路浚渫及び汚泥排除補償費		
	計	7,329,840円			

<b>全体コスト(千円)</b>	直接 事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他特定財源:行政財産目的外使用料 21,600円	
		国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	21	21	22	21		
		一般財源	9,155	14,151	7,308	11,997		
	合計(A)	9,176	14,172	7,330	12,018			
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.38 人	0.38 人	0.38 人		0.38 人
			人件費	2,951	2,941	2,941		2,928
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)		2,951	2,941	2,941	2,928		
	合計(A+B)		12,127	17,113	10,271	14,946		
	市民1人当たりのコスト(円)		136	195	117	173		

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	管路や人孔蓋の修繕であり、指標を一律化できないため。		達成	-	-	/	/

<b>方向</b>	継続	課題	
		改善案	

整理番号
410 -

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)03下水路等整備事業

決算書頁
287

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-6 上下水道	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-03-03-02
	基本事業	② 下水道	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	市単下排水路管渠老朽化対策事業		評価責任者・連絡先
			上下水道部経営企画課	課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対 象	上野管内他の既設下水路		
	目 的	上野管内他の老朽化した下排水路施設について計画的に調査及び修繕を図る		
	根拠法令等			
	内 容	上野管内他の下水路の老朽化した施設について工事等を実施しました。  マンホールポンプ更新 N=1箇所 雨水管修繕 N=1箇所 マンホール蓋更新 N=3箇所		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	191,400円	マンホールポンプ更新	
	工事請負費	1,388,640円	雨水管修繕 等	
	計	1,580,040円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	2,692	1,580	4,696		
		合計(A)	0	2,692	1,580	4,696		
	事業費 人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	0	387	387		386
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	0	387	387	386			
	合計(A+B)	0	3,079	1,967	5,082			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	36	23	59			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	管路や人孔等の修繕であり、指標を一律化できないため。	達成	-	-	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
411 -

決算書頁
287

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)03下水道整備費(大事業)04下水道事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	7-2 財政運営	H29 年度～	R6 年度	01-08-04-03-04-01
	基本事業	① 持続可能な財政運営	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	公共下水道事業	担当部署	財務部財政課	課長 竹森 昭治 0595-22-9608

事務事業の概要	対象	公共下水道事業		
	目的	公共下水道事業の経営健全化を図る。		
	根拠法令等	総務省通知「地方公営企業繰出金について」		
	内容	<p>下水道事業会計公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業において、各事業の経営健全化を図るため、施設維持管理に要する直接的経費を使用料で賄うこととし、一般会計から次のとおり補助しました。</p> <p>【公共下水道事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息)</li> <li>・下水道事業人件費に要する経費</li> <li>・新都市浄化センターに要する経費</li> </ul> <p>【特定環境保全公共下水道事業補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道事業債の償還に要する経費(元金・利息)</li> <li>・下水道事業人件費に要する経費</li> </ul> <p>【公共下水道事業負担金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水処理施設維持管理経費に要する経費</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	20,981,840円	公共下水道事業補助	
		473,739,876円	特定環境保全公共下水道事業補助	
		18,673,485円	公共下水道事業負担金	
	計	513,395,201円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	総務省の通知に基づく繰出金(補助・負担金)については、地方交付税等において考慮するものとされています。	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	492,231	520,457	513,395	500,312					
		合計(A)	492,231	520,457	513,395	500,312					
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0	0	0		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
小計(B)	人件費	0	0	0	0	0	0				
	合計(A+B)	492,231	520,457	513,395	500,312						
	市民1人当たりのコスト(円)	5,515	5,929	5,848	5,790						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	/	/
	指標化できない成果	成果を求める事業ではない。	達成	-	-	/	/	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)04都市下水路費(大)01都市下水路維持管理経費	決算書頁
412 -		287

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	2-6 上下水道	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-04-01-01
	基本事業	② 下水道	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設維持管理経費	上下水道部経営企画課	課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設		
	目的	機能維持のための管理と周辺環境の保全を行う		
	根拠法令等			
	内容	<p>伊賀市緑ヶ丘地内の家庭並びに工場等の雑排水が一級河川久米川に流入し、水質汚濁を招いていたため、昭和59年に「都市下水路雑排水対策モデル事業」として本施設が建設された。公共用水域の水質保全のため緑ヶ丘下水路浄化施設の適切な維持管理を行いました。</p> <p>集水面積 84.5ha 計画対象人口 4,000人</p> <p>事業実績 施設維持管理 1式 施設修繕 1式</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,887,607円	光熱水費	
	委託料	5,662,822円	施設管理業務委託 等	
	計	8,550,429円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,955	8,986	8,550	10,287		
	合計(A)	8,955	8,986	8,550	10,287		
事業費	正規職員	業務量	0.12 人	0.12 人	0.12 人		0.12 人
		人件費	932	929	929		925
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
小計(B)		932	929	929	925		
合計(A+B)		9,887	9,915	9,479	11,212		
市民1人当たりのコスト(円)		111	113	108	130		

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
水質検査合格数	水質検査合格回数 (1回/月×12ヵ月) (BOD 30mg/L)	回	目標	12	12	12	12
			実績	12	12		
指標化できない成果			達成	100	100		

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 413 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)04都市下水路費(大事業)01都市下水路維持管理経費	決算書頁 —
---------------	---	-----------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-6 上下水道	R3 年度～	R6 年度	01-08-04-04-01-02
	基本事業	② 下水道	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	緑ヶ丘都市下水路浄化施設更新事業	上下水道部経営企画課		課長 中 映人 0595-24-0001

事務事業の概要	対 象	緑ヶ丘都市下水路浄化施設		
	目 的	機能維持のため施設の更新を行う。		
	根拠法令等			
	内 容	適切な維持管理が行われており、改築更新の必要がなかったため、予算執行がなかった。		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	計		円	

	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	49	2,477	0	0	
		合計(A)	49	2,477	0	0	
事業費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	2,330	2,322	0	0	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	小計(B)	2,330	2,322	0	0		
合計(A+B)	2,379	4,799	0	0			
市民1人当たりのコスト(円)		27	55	0	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—		
	指標化できない成果	施設の機械機器更新であり、指標を一律化できないため。		達成	—			

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	施策	4-1 都市政策	H16 年度～ R4 年度	01-08-04-05-01-01	
	基本事業	② 良好な景観形成	<b>担当 部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	事務事業名	公園施設維持管理経費		建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	都市公園施設		
	<b>目的</b>	都市公園施設を安全で安心して利用できるよう維持管理を行う		
	<b>根拠法令等</b>	都市公園法		
	<b>内容</b>	都市公園施設の維持管理業務(施設整備保守点検、施設維持管理、施設補修・改修工事、岩倉峡公園キャンプ場指定管理)を実施しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	施設設備保守点検委託料	5,960,350円	浄化槽保守点検等 委託先:(有)白鳳清掃ほか	
	施設維持管理委託料	57,134,972円	都市公園清掃、樹木管理等 委託先:(公社)伊賀市シルバー人材センターほか	
	草刈業務委託料	21,642,340円	都市公園草刈等	
	消耗品費	712,001円	公園管理用消耗品費	
	光熱水費	6,500,531円	公園電気・上下水道使用料	
	修繕料	6,277,770円	公園トイレ修繕等	
	施設補修・改修工事費	2,365,900円	公園浄化槽プロフワ交換工事等	
	その他維持管理経費	1,794,905円	謝礼、旅費、燃料費、食糧費、手数料、土地借上料、資材費、負担金	
	<b>計</b>	<b>102,388,769円</b>		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0		0		0		0	公園使用料 電気ガス等使用料 草刈費用県負担金 建物総合損害共済災害共済金
		地方債	0		0		0		0	
		その他	4,825		4,384		4,775		4,149	
		一般財源	91,180		95,684		97,614		113,540	
		合計(A)	96,005		100,068		102,389		117,689	
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	1.80 人		1.58 人		1.90 人		1.95 人	
		人件費	13,976		12,225		14,701		15,025	
	<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人		0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
	<b>会計年度任用職員</b>	業務量	1.00 人		1.00 人		1.00 人		1.00 人	
		人件費	1,596		1,617		1,617		1,679	
	<b>小計(B)</b>		15,572		13,842		16,318		16,704	
<b>合計(A+B)</b>		111,577		113,910		118,707		134,393		
<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>		1,250		1,298		1,353		1,556		

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	稼働率		公園の遊具等が健全に稼働している割合	%	目標	95	95	95	95
					実績	94	96	/	/
指標化できない成果				達成	99%	101%	/	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	老朽化した施設も多くあるため、優先順位をつけながら限られた予算内で都市公園施設の維持管理を効率的、効果的に行う必要があります。
	<b>改善案</b>		課題の情報共有を図り、継続して事業を実施します。

整理番号
415 -

決算書頁
287

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)05公園費(大事業)01公園施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	R元 年度～	R4 年度	01-08-04-05-01-03
	基本事業	② 良好な景観形成	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	公園施設更新事業	担当部署	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	都市公園施設		
	目的	都市公園の適正管理のため公園内施設及び設備を更新する		
	根拠法令等	都市公園法		
	内容	都市公園内施設及び設備を更新しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	公園施設補修工事費	20,495,200円	都市公園遊具修繕工事等 (株)フジカワほか	
	計	20,495,200円		

	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	294	0	
	地方債	57,800	0	0	0	
	その他	6,304	18,500	18,558	10,277	
	一般財源	7,778	0	0	11,482	
	合計(A)	72,176	18,500	20,495	33,239	
事業費	正規職員	業務量	1.19 人	1.10 人	0.89 人	1.25 人
		人件費	9,240	8,511	6,886	9,632
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人件費		0	0	0	0	
	小計(B)	9,240	8,511	6,886	9,632	
	合計(A+B)	81,416	27,011	27,381	42,871	
	市民1人当たりのコスト(円)	913	308	312	497	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	予算に対する執行額の割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善課題	老朽化した施設も多くあるため、補助金等を確保しながら公園内施設及び設備を効率的、効果的に更新する必要があります。
	改善案	今年度中に公園施設長寿命化計画を策定し、次年度から補助金を活用して、緊急度・重要度が高い施設の更新等に着手します。

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～	R6 年度	01-08-05-01-02-01
	基本事業	② 市営住宅の建替・改善	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	住宅管理経費	担当部署	建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	市営住宅		
	目的	市営住宅および付帯設備である浄化槽等の管理、市営住宅敷地内の草刈などを行う		
	根拠法令等	公営住宅法、住宅地区改良法、伊賀市営住宅管理条例		
	内容	付帯設備である浄化槽の管理や住宅敷地内の草刈などを実施し、適正な管理に努めました。また、高架水槽や鳥害対策の業務委託を実施し、住環境整備の向上に努めました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	27,766,244円	浄化槽清掃等保守点検業務委託料	2,640,770円
			汚水処理施設維持管理業務委託料	9,207,000円
			受水槽・高架水槽清掃業務委託料	1,672,000円
			草刈業務委託料	10,368,864円
	その他経費	19,650,584円	ほか	3,877,610円
			光熱水費ほか	
	計	47,416,828円		

項目		R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	住宅使用料等 行政財産目的外使用料 入居証明等交付手数料 複写料
	地方債	0	0	0	0	
	その他	53,501	52,675	47,417	54,465	
	一般財源	0	0	0	0	
	合計(A)	53,501	52,675	47,417	54,465	
事業費 人件費	正規職員	業務量 5.10 人	5.10 人	4.49 人	6.16 人	
		人件費 39,597	39,459	34,740	47,463	
	再任用職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	2.00 人	
		人件費 3,531	3,590	3,590	7,044	
	会計年度任用職員	業務量 2.50 人	2.50 人	2.90 人	3.00 人	
		人件費 3,990	4,043	4,690	5,037	
小計(B)		47,118	47,092	43,020	59,544	
合計(A+B)		100,619	99,767	90,437	114,009	
市民1人当たりのコスト(円)		1,128	1,137	1,031	1,320	

指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
入居率	入居抽選会申込者数/入居募集戸数	%	目標	120	120	120
			実績	128.6	128.6	
指標化できない成果		達成	107.2%	107.2%		

方向	改善	課題	快適な住環境を整えるため、今後も適切な維持管理に努めます。
	改善案		令和5年度から住宅政策係を新設し、市営住宅の現状把握や団地の集約などを行っていきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～ R6 年度	01-08-05-01-02-03
	基本事業	② 市営住宅の建替・改善	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市営住宅改修事業	建設部住宅課	評価責任者・連絡先 課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	市営住宅		
	目的	市営住宅の長寿命化や住環境向上のための大規模改修工事、通常修繕や入居修繕等を行う		
	根拠法令等	公営住宅法、住宅地区改良法、伊賀市営住宅管理条例、伊賀市公営住宅等長寿命化計画		
	内容	市営住宅や附属施設の改修を行うことで長寿命化を図りました。 4階建住宅及び2階建住宅の各1棟の屋上防水を改修することで建物の長寿命化を図るとともに、断熱性が向上しました。 通常修繕が必要な箇所について、業者への発注を行うことで入居者の快適な使用環境に配慮しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	23,545,500円	屋上防水改修工事(2件) 16,709,000円 火災報知設備改修工事 6,747,400円 その他工事 89,100円	
	修繕料	32,943,251円	市営住宅入居に伴う入居修繕(3戸) 市営住宅等その他の修繕(374件)	
	材料費等	236,864円		
	計	56,725,615円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	9,245		11,863		8,301		10,015	社会資本整備総合交付金 公営住宅建設事業債 住宅使用料
		地方債	9,800		12,100		8,300		10,000	
		その他	30,962		35,841		34,036		47,373	
		一般財源	14,750		2,249		6,089		11,004	
		合計(A)	64,757		62,053		56,726		78,392	
事業費	人件費	正規職員	業務量 3.58 人	3.58 人	業務量 3.36 人	3.36 人	業務量 2.49 人	2.49 人		
		人件費	27,796	27,699	25,997	25,997	19,186	19,186		
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	479	486	0	0	0	0		
	小計(B)	28,275	28,185	25,997	25,997	19,186	19,186			
	合計(A+B)	93,032	90,238	82,723	82,723	97,578	97,578			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,043	1,028	943	943	1,130	1,130			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	修繕実施率	修繕対応件数/入居者からの通報件数	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100		
指標化できない成果			達成	100%	100%			

方向	改善	課題	令和元年9月に公営住宅等長寿命化計画を改定しました。今後において老朽市営住宅の更新や廃止を進める必要がありますが、財源の確保や入居者の移転などの問題を抱えています。
	改善案		維持修繕対象の市営住宅については、今後も計画に沿って国の補助金を受け、既存市営住宅の長寿命化を図ります。用途廃止対象の市営住宅については、市営住宅あり方検討委員会からの答申を受け、建替えや住替えについての検討を行います。

整理番号
418 -

(会計)01一般会計(款)09消防費(項)01消防費(目)01常備消防費(大事業)02常備消防一般管理経費

決算書頁
293

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	H16 年度～ R6 年度	01-09-01-01-02-01
	基本事業	① 消防	担当部署	部・課名等
	事務事業名	常備消防一般管理経費	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 三山 雅史 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	安全安心なまちづくりを推進する		
	根拠法令等	消防組織法、消防法		
	内容	<p>消防業務遂行のための車両燃料代、車両・資機材点検整備料、消防職員貸与被服・事務用品購入経費、常備消防8庁舎分のランニングコスト等を適切に執行し、消防業務を円滑に実施しました。</p> <p>【出動件数(R4)】          火災:69件          救助:54件          怪煙(炎)調査、救急支援等:587件          ※救急件数は、救急活動関係経費シートに記載</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	54,000円	消防委員会委員報酬	
	旅費	260,725円	一般旅費、研修会旅費	
	需用費	44,318,177円	消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料	
	役務費	9,054,132円	通信運搬費、手数料、火災保険料、自動車損害保険料	
	委託料	21,872,149円	設備保守点検委託料、施設維持管理委託料等	
	使用料及び賃借料	5,441,864円	電算機借上料、機械器具借上料等	
	備品購入費	274,190円	管理用備品購入費	
	負担金、補助及び交付金	10,893,736円	全国消防長会・三重県防災行政無線負担金等	
	公課費	440,000円	自動車重量税	
	計	92,608,973円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【R4特定財源】 消防手数料(危険物施設設置変更等許可手数料):3,641,350円 消防費雑収入(電気ガス等使用料ほか):2,484,895円
		国県支出金	0	0		0	
		地方債	0	0		0	
		その他	8,020	5,251	6,126	3,450	
		一般財源	55,350	84,320	86,482	86,768	
		合計(A)	63,370	89,571	92,608	90,218	
	事業費	正規職員	業務量	107.19 人	108.19 人	109.68 人	108.68 人
			人件費	832,224	837,067	848,595	837,380
		再任用職員	業務量	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人
			人件費	14,124	14,360	14,360	14,088
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	846,348	851,427	862,955	851,468		
	合計(A+B)	909,718	940,998	955,563	941,686		
	市民1人当たりのコスト(円)	10,192	10,719	10,885	10,897		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	-	-	-
				実績	-	-	-
	指標化できない成果	経常経費のため	達成	-	-	-	-

方向	改善課題	経費節減に努めていますが、大半が義務的・固定的経費であり、消防需要が高止まりする中、更なる経費削減は難しい状況です。一方で災害は複雑多様化・大規模化しており、効率化と消防力の維持・強化の両立が課題となっています。
	改善案	令和2年4月1日の組織再編により、一定の効率化を図りました。また消防本部組織再編計画・第1期実行計画を令和6年度まで3年間延長し、この間に第2期実行計画を策定することとしています。今後も市民の安全安心を担保しつつ、消防本部組織再編計画等に基づき持続可能な消防体制の構築を進めます。さらに、名張市との消防連携・協力により、効率化及び消防力の維持・強化を図ります。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	H25 年度～ R6 年度	01-09-01-01-03-01
	基本事業	① 消防	担当部署	部・課名等
	事務事業名	消防職員研修経費	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 三山 雅史 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	消防職員		
	目的	消防職員として専門的な知識、技術を習得し、高度化した業務に対応できる職員を育成することで、各種災害による被害を軽減する。		
	根拠法令等	消防組織法、救急救命士法		
	内容	<p>救急救命士養成のため救急救命研修所及び消防・救急知識技術の習得のため、消防大学校及び三重県消防学校等での研修を実施し、人材育成を図りました。</p> <p>【研修実施者数等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命東京研修所:1名</li> <li>三重県消防学校初任科及び救急科救急課程:3名</li> <li>三重県消防学校現任科各課程:10名</li> <li>各種セミナー:5名</li> <li>救急救命士資格取得後就業前病院実習:2名</li> <li>救急救命士気管挿管病院実習:2名(直視下1、ビデオ硬性喉頭鏡1)</li> <li>救急救命士再教育病院実習等</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	130,000円	ハラスメント研修(11月16日、17日)	
	旅費	274,340円	入校等旅費	
	需用費	1,157,640円	消耗品費(新規採用者被服貸与品等)	
	役務費	46,100円	救急救命士国家試験受験料、免許申請手数料	
	委託料	974,000円	救急救命士病院研修委託料(上野総合市民病院ほか)	
	負担金、補助及び交付金	3,858,110円	救急救命士研修負担金、消防学校入校負担金等	
	計	6,440,190円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	5,842	6,510	6,440	7,060	7,060			
		合計(A)	5,842	6,510	6,440	7,060	7,060			
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			人件費	7,764	7,737	7,737	7,705	7,705		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0				
	小計(B)	7,764	7,737	7,737	7,705	7,705				
	合計(A+B)	13,606	14,247	14,177	14,765	14,765				
	市民1人当たりのコスト(円)	153	163	162	171	171				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	救急救命士充足率	実運用数/最大必要数(48人) × 100	%	目標	100%	100%	100%	100%
				実績	89.6%	85.4%		
指標化できない成果			達成	89.6%	85.4%			

方向	改善	課題	消防職員の人材育成については、消防組織法第52条の規定に基づき、消防大学校又は消防学校の行う教育訓練を受ける機会を与えなければならないとされているほか、職務遂行上必要となる資格取得のため、継続的に有資格者の養成を図る必要があります。さらには各業務の高度化に伴うスキルアップに係る研修も随時実施していく必要があります。しかしながら財政状況が厳しい中、全職員に研修の機会を設けることは難しく、効率的な人材育成が課題となっています。
	改善案		本部にとっても課題解決に必要な研修に絞って派遣するとともに、本部に着実にフィードバックできるような派遣職員についても人選を行います。また引き続き救急救命士枠での新規職員採用も行います。

整理番号
420 -

決算書頁
295

(会計)01一般会計(款)09消防費(項)01消防費(目)01常備消防費(大事業)04救急活動関係経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	H25 年度～	R6 年度	01-09-01-01-04-01
	基本事業	② 救急	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	救急活動関係経費	消防本部消防総務課	課長 三山 雅史 0595-24-9100	

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	救急需要に適切に対応し、救命率の向上を図る。		
	根拠法令等	消防組織法、消防法、救急救命士法		
	内容	<p>救急業務に係る経常的な経費を適切に執行し、救急業務を円滑に実施しました。</p> <p>【出動件数(R4)】 救急件数:5,494件 搬送人員数:4,615人</p> <p>【救急救命士特定行為(R4)】 静脈路確保:172回 薬剤投与:69回 ブドウ糖投与:17回</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	7,334,608円	消耗品費、印刷製本費、修繕料、医薬材料費	
	役務費	1,054,210円	手数料、自動車損害保険料、賠償責任保険料	
	委託料	1,743,720円	施設整備保守点検料、廃棄物処理委託料	
	使用料及び賃借料	972,000円	AEDリース(救急車積載6台)	
	公課費	164,000円	自動車重量税	
	計	11,268,538円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	6,844	0	0	0	【R4特定財源】 <県支出金> ○新型コロナウイルス感染症患者等移送費負担金
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	9,751		10,634		4,424		10,212		
	合計(A)	9,751		10,634		11,268		10,212		
事業費	正規職員	業務量	48.82 人	48.82 人	48.82 人	48.82 人	48.32 人			
		人件費	379,039	377,721	377,721	372,306				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人				
		人件費	1,596	1,617	1,617	1,679				
小計(B)		380,635	379,338	379,338	373,985					
合計(A+B)		390,386	389,972	390,606	384,197					
市民1人当たりのコスト(円)			4,374	4,442	4,450	4,446				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	経常経費のため		達成	-	-	-	

方向	改善	課題	高齢化に伴い救急需要は高止まりの状況で、本市の人口規模団体における救急需要のピークは2025(令和7)年度とされており、その後も当面は大きく減少しないことが見込まれています。これに加え、新型コロナウイルス感染症等にも対応するため、より高度な資機材等の導入や救急救命士・救急隊員の技術の向上を図る必要があります。
		改善案	救急件数抑制のため、救急車の適正利用について、広報等により市民の理解を求めていきます。また、名張市との消防連携・協力において、名張市消防本部と合同訓練を実施するなど、救急救命士・救急隊員の技術向上を図ります。

整理番号 421 -	(会計)01一般会計(款)09消防費(項)01消防費(目)01常備消防費(大事業)05伊賀市・名張市消防連携・協力事業	決算書頁 295
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	R3 年度～ R5 年度	01-09-01-01-05-01
	基本事業	① 消防	担当部署	部・課名等
	事務事業名	共同消防指令センター整備事業	消防本部消防総務課	評価責任者・連絡先 課長 三山 雅史 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	消防施設・設備		
	目的	共同消防指令センターの効率的な整備		
	根拠法令等	消防組織法、地方自治法、市町村の消防の連携・協力に関する基本指針、伊賀市・名張市消防連携・協力実施計画		
	内容	人口減少社会においても消防力を維持・強化していくため、消防組織法及び国の指針に基づき名張市との間で消防の連携・協力を推進することとし、通信指令業務については令和6年4月1日からの共同運用開始に向けて、地方自治法第252条の2の2の規定に基づく「伊賀市・名張市消防通信指令事務協議会」を設置しました。 共同運用の実施には新たに高機能消防指令システムの整備及び現指令センターの改修が必要になりますが、国等の有利な財源を活用することにより効率的な整備が可能となります。令和4年度は、システム及び庁舎改修の設計業務を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	5,478,000円	施設改修工事設計業務委託料 共同指令センター整備設計業務委託料	
	計	5,478,000円		

全体コスト(千円)	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	1,276	0		0
	地方債	0	5,500	3,700	423,300		
	その他	1,276	4,554	1,730	277,583		
	一般財源	0	26	48	73		
	合計(A)	2,552	10,080	5,478	700,956		
事業費	正規職員	業務量	1.50 人	1.50 人	1.50 人	2.00 人	
		人件費	11,646	11,606	11,606	15,410	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	11,646	11,606	11,606	15,410		
	合計(A+B)	14,198	21,686	17,084	716,366		
	市民1人当たりのコスト(円)	160	248	195	8,290		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
	指標化できない成果	施設・設備の整備費用であり、整備後でなければ効果の検証ができないため	達成	-	-	-	-	

方向	充実	課題	令和5年度に構築業務を実施し、令和6年4月1日から共同運用を開始します。
		改善案	令和6年度からの共同運用開始に向けて、適切に業務を執行します。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	2-2 消防・救急	R3 年度～ R6 年度	01-09-01-01-05-02	
	<b>基本事業</b>	① 消防	<b>担当部署</b>	部・課名等	評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	共同消防指令センター運営事業		消防本部消防総務課	課長 三山 雅史 0595-24-9100

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	消防施設・設備		
	<b>目的</b>	共同消防指令センターの運営		
	<b>根拠法令等</b>	消防組織法、地方自治法、市町村の消防の連携・協力に関する基本指針、伊賀市・名張市消防連携・協力実施計画		
	<b>内容</b>	人口減少社会においても消防力を維持・強化していくため、消防組織法及び国の指針に基づき名張市との間で消防の連携・協力を推進することとし、通信指令業務については令和6年4月1日からの共同運用開始に向けて、地方自治法第252条の2の2の規定に基づく「伊賀市・名張市消防通信指令事務協議会」を設置しました。 令和6年度からの共同運用実施に向けて、準備事務を行いました。		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	115,696円	消耗品費	
	役務費	47,520円	通信運搬費	
	負担金、補助及び交付金	4,000円	負担金(研修会等参加費)	
	計	167,216円		

		項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金		0		0
地方債				0	0	0		
その他				75	75	174		
一般財源				91	92	208		
合計(A)	0			166	167	382		
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>		業務量		1.00 人	1.00 人	1.00 人	
			人件費	0	7,737	7,737	7,705	
	<b>再任用職員</b>		業務量		0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	<b>会計年度任用職員</b>		業務量		0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費		0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	0	7,737	7,737	7,705			
	<b>合計(A+B)</b>	0	7,903	7,904	8,087			
	市民1人当たりのコスト(円)	0	91	91	94			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
指標化できない成果		設備の準備事務費用であるため、効果検証ができない。		達成	—	—	—	—	

<b>方向</b>	<b>充実</b>	<b>課題</b>	令和6年4月1日からの共同運用に向けて、必要な事務作業を実施します。
	<b>改善案</b>	令和6年4月1日からの共同運用に向けて、適切に業務を執行します。	

整理番号	(会計)01-一般会計(款)09消防費(項)01消防費(目)02非常備消防費(大事業)01消防団本部管理経費	決算書頁
423 -		297

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	H16 年度～ R4 年度	01-09-01-02-01-01
	基本事業	① 消防	担当部署	部・課名等
	事務事業名	消防団本部管理経費	消防本部地域防災課	評価責任者・連絡先 課長 石本 陽洋 0595-24-9115

事務事業の概要	対象	消防団		
	目的	各種災害に対応すべく、消防団員の確保をはじめ、団員の活動意欲を喚起する体制づくりを行う。		
	根拠法令等	消防組織法、消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災や豪雨による風水害の警戒等、各種災害に対応しました。</li> <li>①水火災等出動:79回 延べ1,209人</li> <li>②訓練出動・防火防災指導等140回 延べ6,209人</li> <li>・消防団員活動服の更新計画に基づき、新基準に適合する活動服290式を配備しました。</li> <li>・持続可能な消防団を目指し、第3次伊賀市消防団活性化計画を策定するとともに、消防団員の処遇を改善するため、年額報酬を国が示す標準額へ引き上げました。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、消防団管理システムを導入しました。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	49,098,250円	消防団員報酬	
	共済費	4,122,000円	消防団員福祉共済掛金	
	報償費	24,505,475円	消防団員費用弁償・退職報償金、表彰徽章	
	需用費	20,804,187円	消耗品費(貸与被服、バッテリー 他) 燃料費(消防団車両・ポンプ燃料) 修繕料(消防団車両車検・点検、ポンプ修理費 他) 光熱水費、食糧費	
	委託料	11,390,457円	木津川排水樋門操作点検業務委託料 他	
	負担金、補助及び交付金	26,521,989円	消防団員等公務災害補償・退職報償金掛金 他	
	その他	5,354,094円	役務費、公課費、備品購入費 他	
	計	141,796,452円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R3年度決算	R4年度当初予算	R4年度決算	R5年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【特定財源】 <国庫支出金> ・木津川排水樋門操作点検業務委託金: 10,363,557円 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:770,000円(消防団管理システム)	
		国庫支出金	9,903	11,270	11,134	11,000		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	17,761	134,088	80,211	122,140		
		一般財源	78,107	50,075	50,451	52,636		
		合計(A)	105,771	195,433	141,796	185,776		
	事業費	人件費	正規職員	業務量 3.48 人	4.64 人	4.64 人	3.95 人	<その他> ・ふるさと応援基金繰入金:56,477,050円(団員報酬・活動服) ・退職消防団員報償金:21,980,000円 ・コミュニティ助成金:1,000,000円(救助用半長靴) ・安全装備品整備事業助成金:572,000円(防火衣) ・その他:182,280円
			人件費	27,019	35,900	35,900	30,435	
			再任用職員	業務量 0.40 人	0.30 人	0.30 人	0.00 人	
			人件費	1,413	1,077	1,077	0	
会計年度任用職員			業務量 0.00 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人		
人件費	0	0	162	0				
	小計(B)	28,432	36,977	37,139	30,435			
	合計(A+B)	134,203	232,410	178,935	216,211			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,504	2,648	2,039	2,502			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	消防団員数	各種災害に対応するため、条例定数の団員を確保する。	人	目標	1450	1450	1410
				実績	1409	1370	
指標化できない成果		達成	97.2%	94.5%			

方向	充実	課題	消防団員の確保及び経年劣化している活動服の更新が課題です。
	改善案		<ul style="list-style-type: none"> <li>I. 第3次伊賀市消防団活性化計画に基づき、魅力ある消防団組織づくりを進めることによって、消防団員の確保を図ります。</li> <li>II. 活動服更新計画に基づき、消防団員活動服の更新を図ります。</li> </ul>

整理番号
424 -

決算書頁
297

(会計)01一般会計(款)09消防費(項)01消防費(目)03消防施設費(大事業)01消防施設整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-2 消防・救急	R4 年度～	R6 年度	01-09-01-03-01-06
	基本事業	① 消防	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	常備消防施設等整備事業	担当部署	消防本部消防総務課	課長 三山 雅史 0595-24-9100

事務事業の概要	対象	消防施設・設備		
	目的	消防施設・設備を適切に整備し、消防活動を円滑に実施する。		
	根拠法令等	消防組織法、消防力の整備指針		
	内容	<p>隊員の安全を保持し、適切な消火活動等を行うため、資機材を更新しました。</p> <p>①消防用ホース:65<sup>ミリ</sup>×15本、50<sup>ミリ</sup>×23本          ②緊急搬送用シールド:8式          ③墜落用制止器具:2式          ④防火衣:18着</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	備品購入費	6,057,040円	機械器具購入費	
	計	6,057,040円		

	項目	R3年度決算		R4年度当初予算		R4年度決算		R5年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金			0		0		0	
		地方債			113,900		0		0	
		その他			42,286		0		0	
		一般財源			2,200		6,057		6,029	
		合計(A)		0	158,386		6,057		6,029	
事業費	人件費	正規職員	業務量	人	0.75	人	0.75	人	0.75	人
			人件費		0		5,803		5,803	
		再任用職員	業務量	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
			人件費		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
			人件費		0		0		0	
	小計(B)		0	5,803		5,803		5,779		
	合計(A+B)		0	164,189		11,860		11,808		
	市民1人当たりのコスト(円)		0	1,871		136		137		

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	防火衣の更新		更新数/対象者数125着×100 (2回目の更新サイクルに入りました)	式	目標	-	100%	100%	100%
					実績	-	14.4%		
	指標化できない成果			達成	-	14.4%			

方向	改善	課題	購入単価が高額かつ必要購入数も多いため、経費が掛かり、更新サイクルが長くなっています。
		改善案	必要装備品等の精査を行い、更新計画を策定しました。これにより、計画的な更新を行います。